

令和7年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

取り組み 6年目 事業の概要と結果報告



事業受託者： 特定非営利活動法人 NPO 福祉用具ネット

令和7年度 取組施設の紹介

令和7年度 新規取組施設 6期生 7施設

	地域	施設名	サービス種別
1	筑後	社会福祉法人 関南会 特別養護老人ホーム えびね荘	特別養護老人ホーム
2	筑後	社会福祉法人 正寿庵会 特別養護老人ホーム エルンテハイム	特別養護老人ホーム
3	筑後	社会福祉法人 多間福祉会 特別養護老人ホーム 彌栄苑 いやさかえん	特別養護老人ホーム
4	福岡	医療法人社団 博愛会 老健センターささおか	介護老人保健施設
5	福岡	医療法人社団 江頭会さくら病院 デイサービスセンター マイライフさくら	通所介護
6	福岡	社会福祉法人 順和 特別養護老人ホーム 鹿助荘 ろくすけそう	特別養護老人ホーム
7	北九州	社会福祉法人 白寿会 特別養護老人ホーム 白川園	特別養護老人ホーム

5期生 2年目の取り組み 8施設

	地域	施設名	サービス種別
1	筑豊	社会福祉法人 福智会 特別養護老人ホーム 福智園	特別養護老人ホーム
2	筑後	社会福祉法人 ひじり会 特別養護老人ホーム ひじり園うきは	特別養護老人ホーム
3	筑後	医療法人 八女健朋会 介護医療院 やひめ	介護医療院
4	筑後	社会福祉法人 ひじり会 特別養護老人ホーム 第2ひじり園	地域密着型介護老人福祉施設
5	福岡	社会医療法人 水光会 花みずき	小規模多機能型居宅介護施設
6	福岡	社会福祉法人 飯盛会 地域密着型特別養護老人ホーム サンガーデン	地域密着型特別養護老人ホーム
7	福岡	社会福祉法人 白熊会 看護小規模多機能 しろくま野方	看護小規模多機能型居宅介護
8	北九州	特定医療法人 東筑会 介護老人保健施設 翡翠苑	介護老人保健施設

4期生 3年目の取り組み 13施設

	地域	施設名		地域	施設名
1	筑豊	特別養護老人ホーム 筑穂桜の園	9	福岡	特別養護老人ホーム サンシャインプラザ
2	筑後	介護老人保健施設 クリーンバル・ゆう	10	福岡	介護老人保健施設 ケアセンターひまわり苑
3	筑後	特別養護老人ホーム 紅葉樹			
4	筑後	介護老人福祉施設 美さと	11	福岡	特別養護老人ホーム マナハウス
5	北九州	特別養護老人ホーム 杜の家	12	福岡	特別養護老人ホーム 白熊園 地域リーダー
6	北九州	ユニット型特別養護老人ホーム みやこの苑	13	福岡	地域密着型特別養護老人ホーム 陽だまり
7	北九州	グループホーム くもじ			
8	北九州	特別養護老人ホーム 垣生の里			

2期生 5年目の取り組み

1期生 6年目の取り組み

2期生			1期生		
アドバイザー施設 10施設			アドバイザー施設 6施設		
1	筑豊	特別養護老人ホーム ひまわり園 地域リーダー	1	筑豊	特別養護老人ホーム 本陣園
2	筑豊	地域密着型 特別養護老人ホーム ことぶきの森	2	筑豊	介護複合施設 ひばり 地域リーダー
3	筑豊	特別養護老人ホーム くぬぎ苑	3	筑後	特別養護老人ホーム 桜の丘 地域リーダー
4	筑後	介護老人保健施設 アルテンハイムヨコクラ	4	筑後	特別養護老人ホーム 常照苑くすのき通り 地域リーダー
5	筑後	特別養護老人ホーム 常照苑サンシャイン	5	福岡	特別養護老人ホーム 仙寿苑・はまぼう
6	福岡	特別養護老人ホーム なの国 地域リーダー	6	北九州	特別養護老人ホーム 風の家 地域リーダー
7	福岡	地域密着型 特別養護老人ホーム フレンドビーチ ちはや	◎ 先行施設 アドバイザー施設 6年以上 3施設		
8	北九州	特別養護老人ホーム みやこの苑	1	筑豊	特別養護老人ホーム 明日香園
9	北九州	特別養護老人ホーム 足原のぞみ苑	2	福岡	特別養護老人ホーム ねむのき
10	北九州	介護老人保健施設 博愛苑	3	北九州	特別養護老人ホーム ふじの木園

3期生 4年目の取り組み 11施設

	地域	施設名		地域	施設名
1	筑豊	特別養護老人ホーム はくりゅう園	6	福岡	特別養護老人ホーム 初花
2	筑豊	介護老人保健施設 ほ乃ぼの園	7	福岡	特別養護老人ホーム 次郎丸の里
3	筑後	天神会複合施設 こがラウンドケア大石町/こがデイ サービス大石町・縄手 天神会（大 石町縄手地区）定期巡回随時対応型 訪問介護看護・通所介護事業所等 ノーリフティングケア推進チーム	8	福岡	特別養護老人ホーム 能古清和園
			9	福岡	特別養護老人ホーム つくも苑
4	筑後	特別養護老人ホーム 八女の里	10	福岡	特別養護老人ホーム 朝老園ひさみつ
5	北九州	特別養護老人ホーム石並園 地域リーダー	11	福岡	特別養護老人ホーム 宝珠の郷

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

6年間の取り組みの概要

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業のあゆみ						
	2019年 令和1年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年
モデル施設及び新規取組施設公募	ノーリフティングケア普及促進事業について、検討し、翌年から取組決定	モデル施設1期生12施設 (内、1施設中断)	モデル施設2期生11施設	モデル施設3期生13施設	4期生新規取組施設15施設	5期生新規取組施設10施設
マネジメント研修及びマネジメント力強化研修		1期生マネジメント	2期生マネジメントと1期生マネジメント力強化	3期生マネジメントと2期生マネジメント力強化	4期生マネジメント 3期生マネジメント力強化	5期生マネジメント 6回 4期生補習研修 3回
基本技術研修及び技術力強化研修		オンライン指導 教育用技術動画	2期生基本技術 1期生技術力強化	3期生基本技術 2期生技術力強化	4期生基本技術 3期生技術力強化	5期生技術研修4回 4期生技術補習3回
指導者育成 マネジメント講師・技術指導講師				マネジメント講師見習 8名	講師経験1年目 技術指導者育成 見学学習	講師経験2年目 新規講師見習育成 技術指導経験・見学学習
地域連絡協議会			施設の連携を目的としてスタート 4地域のアドバイザー施設がリーダーとなり年間各地域3回ずつ開催	地域活動の中で仲間を募る 後輩施設をサポート体制づくり 各施設で独自に地域の要請等に対応。個別に普及活動の動きが開始される。 障がい施設や医療関係、教育機関等	対面による開催地域で普及促進を目的とした フォーラム2地域 (福岡地域・筑豊地域)、 フェス1地域 (筑後地域)開催。年間6回開催 スラック活用による連携強化(老施協との共催)	主に技術等対面による企画 年間6回開催 福岡地域・筑豊地域にて フォーラム開催 (老施協との共催) 筑後地域、九州大谷短期大学と共催にて実践報告会と体験会を開催
特別イベント フォーラム・みやま市支援や、NPO独自活動		10月2日ノーリフティングケア導入研修会開催 (国際会議場)		9月3日ノーリフティングケアフォーラム開催 (クローバープラザ)	NPO福祉用具ネット主催の技術認定試験実施、10名関係施設より合格	NPO福祉用具ネット独自にて技術教育用テキスト発行。フォーラムの発表を収録して公開
実践報告や腰痛調査等		令和3年1月26日 令和2年度実践報告会実施(クローバープラザ) 実践報告書発行 年2回 腰痛・抱え上げや施設調査	令和4年2月15日 令和3年度実践報告会実施(クローバープラザ) 実践報告書発行 年2回 腰痛・抱え上げや施設調査	令和5年2月15日 令和4年度実践報告会実施 (クローバープラザ) 実践報告書発行 年2回 腰痛・抱え上げや施設調査	令和6年2月 令和5年度実践報告動画を県ホームページにて公開 実践報告書発行 年2回 腰痛・抱え上げや施設調査	令和7年2月 令和6年度実践報告動画を県ホームページにて公開 実践報告書発行 年2回 腰痛・抱え上げや施設調査 29項目進捗チェック

令和7年度の事業実績



福岡県ノーリフティングケア普及促進事業のあゆみ	
	2025年 6年目 令和7年
新規取組施設公募	・新規取組施設6期生公募 ・福祉用具の準備について確認 審査項目としてチェック 7施設が確定
マネジメント研修及びマネジメント力強化研修	・6期生マネジメント研修 6回 ・5期生の強化研修 地域にてフォーロ ・4地域にて取り組み報告会を実施
基本技術研修及び技術力強化研修	・6期生基本技術研修 4回 ・5期生 技術復習研修3回 ・技術リーダー研修 1回認定試験受験対象者 ・モデル施設復習会 3回
指導者育成 マネジメント講師 技術指導講師	・マネジメント統括講師2名、講師3名 さらに、見習い3名育成 ・技術見学学習 主に4期生を対象として、指導力のアップを目指す。ただし、希望施設のみ。
地域連絡協議会	・リーダー施設 今年度より2施設体制で実施 ・6月に5期生の実践報告を企画し、今後の取組指導 ・12月に4期生～1期生までの実践報告会を開催し、代表施設は年度末の報告としてホームページに発表動画を公開。 ・外部に向けた普及活動を実施 ・技術体験会は主に外部に向けて実施 ・フォーラム、みやま市主催普及活動などの支援
特別イベントや独自活動	・NPO主催 技術認定試験合格14名 5月と9月に実施 取り組み施設内の合格者数は合計38名となり、地域主催の勉強会で指導者役を担う。 ・大学との連携で調査結果の解析(対象：58施設・1,766名) ・論文掲載：日本ヘルスプロモーション理学療法学会誌 2件 ・NPO主催の研修会 情報提供随時 ・すべての研修や活動は随時SNSにて発信
実践報告や腰痛調査等	・実践報告書発行 実践報告 6期生・5期生全施設 ・1～4期生より各地域4施設代表選出し発表 16施設 ・年に2回 6月と12月に腰痛や抱え上げ介護、施設調査実施・福祉用具環境の調査、29項目のマネジメント実践の自己評価を実施

各事業の実績

- 新規取組施設 6期生 1年目の研修
さまざまな事情で再学習希望された2施設も受講
 - ① マネジメント研修 概論 導入のために1日研修
 - ② マネジメント研修 各論 4回実施 2グループに分けて合計8日間実施
 - ③ マネジメント研修 個別面談 1時間ずつの個別面談実施2日間
 - ④ 基本技術研修 各4回 2グループに分かれて合計8日間
(事前のオリエンテーション及び報告に向けてのフォローアップなど個別指導は随時対応)
- 5期生 2年目の取組報告 1年目最後のマネジメント研修で立案した半年計画の実践報告は、翌年5月に4つの地域連絡協議会にて報告。
- 5期生2年目の技術補習研修を3日間開催
- 1期生～3期生までのモデル施設対象に技術のフォローアップ研修を4日間開催
- マネジメント講師・技術指導者の育成
 - ① マネジメント研修 6期生9日間および取組報告まとめのための個別面談 合計11日間の指導経験。
統括講師2名、講義経験3名と講師見習い3名が学ぶ
 - ② 6期生4日間と5期生3日間の技術研修の機会を利用して、4期生の希望施設に見学学習の機会を提案。
同意を得た代表者5名が技術の復習と指導について学んだ。
- 地域連絡協議会の活動(詳細は各地域からの報告を参照のこと)
各地域6回以上、合計32日間実践。各々の地域の企画に沿って技術研修会、進捗報告会、事例検討会を開催。また、外部参加者を募るイベントとして、フォーラムや実践報告会や講演会、技術体験会等を実施した。

講師としての役割⇒事前打ち合わせ・講義資料の作成・講義と演習指導担当・作成した計画書の添削指導まで。 講師見習→講師経験2年経過後→統括講師

マネジメント講師育成 技術指導者育成



講師見習→スライド作成から講義経験中

1期生 川端統括講師

3期生 清原講師

1期生 入江統括講師

講師見習 1年目

1期生 佐藤

2期生 石橋講師

3期生 久間

4期生 釜田

2期生 小早川講師

令和7年度 マネジメント講師および講師見習い者が所属している施設

	筑豊地域	筑後地域	福岡地域	北九州地域
1	1. 明日香園	1. 常照苑くすのき通り	1. ねむのき	4. マナハウス
2	1. 介護複合施設 ひばり(見習中)	1. 桜の丘	1. 仙寿苑・はまぼう	1. 風の家
3	1. 本陣園	2. アルテンハイムヨコクラ	2. フレンドピーチちはや	2. 足原のぞみ苑
4	2. ことぶきの森	2. 常照苑 サンシャイン	2. なの国	2. みやこの苑
5	2. くぬぎ苑	3. 天神会複合施設	3. 初花	2. 博愛苑
6	2. ひまわり園	3. 八女の里	3. 次郎丸の里	3. 石並園
7	3. はくりゅう園	3. 朝老園 ひさみつ	3. 能古清和園(見習中)	3. 杜の家
8	3. ほ乃ぼの園	3. 宝珠の郷	3. つくも苑	4. ユニット型 みやこの苑
9	4. 筑穂桜の園	4. クリーンパル・ゆう(見習中)	4. サンシャインプラザ	4. グループホームくもじ
10	5. 福智園	4. 紅葉樹	4. ケアセンター ひまわり苑	4. 垣生の里
合計	10施設 3施設	17施設 3施設	19施設 3施設	12施設 2施設

講師・指導者育成 取り組み 6年目の成果

- ① マネジメント研修講師(取組実践施設より育成)
 - 講師見習い→講師体験→統括講師へ
 - 令和7年度 統括講師 2名(入江・川端)
 - 講師 3名(清原・石橋・小早川)
 - 講師見習い体験 3名(佐藤・久間・釜田)
- ② 技術研修講師(技術認定試験合格者より育成)
 - ◆技術補助指導者経験→技術講師へ
 - 令和7年度講師 2名(染矢・山田講師)
- ③ 技術指導者(取組実践施設より育成)
 - ◆2年間の技術学習→技術見学学習1年→技術認定試験合格→技術補助指導者経験
 - (その後、地域連絡協議会技術指導認定講師を目指す)

(* 令和7年度までの取組施設で活躍しているNPO福祉用具ネット主催の技術認定試験合格者は35名が取り組み施設に在籍し、施設内や地域の技術研修にて指導者として参加し、体験学習を蓄積している)

マネジメント研修講師 段階的講師育成

①講師見習い体験



②講師補助及び講師経験



③統括講師

山形 茂生

コネクトリハビリテーション代表
作業療法士



- ・令和2年度・3年度・4年度は福岡県ノーリフティングケア普及促進事業におけるマネジメント研修講師
- ・令和5年度は技術研修統括指導者
- ・令和6年度は統括講師として講師体験者をサポート
- ・令和7年度は司会進行しながら講師をサポート

感想

講師の方々を中心となり資料作成と伝える役割を担っていただきました。

資料は、5年間、施設が取り組んできた内容を取り込み、具体的にわかりやすく作成し、伝えることができていたと評価しています。

その証拠に6期生の理解度や実施計画の記載能力が格段に上がり、横で拝聴していて誇らしく感じていました。また、実施計画作成の指導も的確であり、6期生の実施計画作成が短時間で作成され、講師陣の教え方が良かったのだと確信しています。また、6期生も優秀な施設が多く、中盤からは1年目の取り組みとは思えない適切な理解と実施計画作成ができていました。私も大変勉強になりました。ありがとうございました。

特別養護老人ホーム 桜の丘

入江 恵美

施設長(介護福祉士・介護支援専門員)

1期生

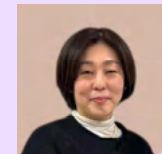
2024.2 技術認定試験合格

講師の種別と経験年数

マネジメント講師見習い1年 補助講師1年 講師経験1年 統括講師1年

その他の活動

- 1.福岡県介護の魅力を発信する介護講座(令和4年～令和7年)
- 2.地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業(高校での講義と技術指導)(R5年)
- 3.筑後北校区コミュニティ健康福祉部会研修会(令和6年3月)
- 4.筑後北校区福祉会研修会(令和7年3月)
- 5.みやま柳川介護サービス事業者連絡会での発表(R7年3月)
- 6.筑後地域連絡協議会でノーリフティングケアについて・地域の活動について報告(令和5年、令和6年)
- 7.九州大谷短期大学で開催された福祉学会で地域・施設の取り組み紹介(令和4年10月)



講師経験から気づいたこと

・何をしなければいけないのか、なぜこのような計画を立て実践していくのかが見える形で取り組みを進めている研修環境が整ってきたこと、また施設の状況に応じて講師陣も対応ができるようになっていくことが画一的な指導ではなく各施設に応じた体制づくりの支援・指導ができるようになり、より各施設に寄り添った指導となってきているのではないかと感じています。

講師経験をする中で自施設取り組みの変化

・皆さんの計画立案から実施状況を確認することで自施設での取り組みの振り返りや新たな気づきを得ることができ自身の学びになると共に施設にとってもプラスになっています。

感想と抱負

・年々講師として携わって下さる方が増え、皆さんの施設の進捗状況や経験されていることを聞くことができること、また新たな取り組み施設の方の取り組みについても毎回確認をさせていただくことができ学びにつながっています。皆さんに負けないよう自施設での取り組みを継続させていきたいと思えます。

講師経験から取り組み施設への方へメッセージ

・通常業務にマネジメント研修で立てた計画の実施が加わり取り組み初めはとて大変だったと思います。でもマネジメント研修で計画をして実践したことはノーリフティングケアを実施していくために必要な体制づくりに繋がっていきます。ノーリフティングケアが自施設の当たり前になるまでにはPDCAサイクルを回し続けなければいけません各施設の状況に合わせて取り組みを継続させていきましょう。また、この事業では地域の取り組み施設との横の繋がりが出来、相談できる体制は整っていますので困ったときには気軽に声を掛けてください。みんなで取り組みを進めていきましょう！

社会福祉法人内野会 特別養護老人ホーム 本陣園

川端 俊祐

生活相談員兼介護支援専門員(作業療法士)

1期生

2024.2 技術認定試験合格

講師の種別と経験年数

講師見習い1年 講師補助1年 講師経験1年 統括講師経験1年

その他 ・福岡県介護の魅力を伝えるイベント

・筑豊地域連絡協議会実践報告会



講師経験から気づいたこと

毎年マネジメント研修を繰り返す中で、その指導方法や講義内容が年々洗練されてきています。これは新に講師となった方々が新しい風となっているのかもしれませんが。講師陣の各施設の強みをうまく皆さまへアピールし、多くの選択肢を提示できる講義内容としていくことが、新規取り組み施設の皆さまにとって有意義な学びとなり、成功へ導く近道となるのではと感じています。

講師経験をする中で自施設取り組みの変化

各施設の実状に合わせた、その施設独自の取り組みを多く知ることができます。そして計画立案から実践、成果が得られるまでをサポートすることで、自施設での取り組みにも生かせる多くのヒントを得ることができます。毎年の取り組みのそれらのヒントを反映させることで、昨年よりも良い実践につなげられていると実感しています。

感想と抱負

新規取り組み施設の皆さまと関わらせていただくなかで、すでに福祉用具環境やマネジメントのベースがある程度整っているところもあります。これらは県事業による成果であることはもちろん、各地域の連絡協議会や先行施設によるノーリフティングケア普及に向けた取り組みが実を結んでいると思われま。講師という立場上、スタートダッシュを決められている施設の皆さまにそのまま追い抜かされてしまわないよう、新しい知識や技術を学び、講義にも反映させていきたいと思えます。

社会福祉法人恵徳会 特別養護老人ホーム なの国
石橋 瑞恵
介護主任



2期生
2024.2 技術認定試験合格
講師経験

- ・見習 1年 講師経験1年
- ・職場内でのノーフティングケアの必要性や理解等の説明を行っています。

◆気づいたこと

資料作成するにあたり、昨年よりもさらにいいものとなるよう先輩講師を中心に取り組んできました。今までの具体的な取り組みの事例を上げることで、イメージがつきやすくなっているのではと感じます。また、取り組み施設のレベルが年々上がっているように思います。6期生は理解度が高く、とてもスムーズにすすめられている印象がありました。

◆今後の抱負

「伝える力」を身につけていきたいと思ひます。しっかりサポートできるように、自身も学びを継続していきたいです。

◆自施設の取り組みの変化

ノーフティングケアの理解が更に深まり、自施設スタッフへの伝達・研修も自信を持って指導することができていると思ひます。不十分なところはPDCAサイクルを活用し、一歩ずつ前にすすめていきたいと思ひます。

◆メッセージ

最初は大変と思うことが多々あると思ひますが、理解を深めチーム皆で進めていきましょう。年数を重ねていけば、結果・成果がついてくると思ひます。あきらめず少しずつでもノーフティングケアを継続していきましょう。

社会福祉法人ひまわり会 特別養護老人ホーム ひまわり園
小早川 篤
理学療法士



2期生
2024.2 技術認定試験合格
講師経験
見習い1年 講師経験1年

介護の現場について気づいたこと

新たな取り組みに対して、「管理者」が先頭に立ち、積極的に参加することが同じ方向を向き、取り組んでいくためにとても重要なことだと実感しています。
現場を変えていくことは、5年10年と時間がかかるものだと施設全体で認識することが大切で、できない日があっても慌てず無理のない範囲で取り組んでいき、「職員の意識が良い方向へ変わる」「取り組んでくれる」ことがあれば、一緒になって喜ぶ、認め合うことで、施設全体のモチベーション向上に繋がっていると感じています。

指導することの重要性やポイント

いままで先輩施設が行ってきた取り組みを研修で伝えていくことが重要で、そこから良いところを真似して、最終的に施設の「強み」や「個性」に合わせた内容に作り変えていくことが、結果を出す近道だと感じました。

抱負

講師として、6期生施設の皆様をサポートさせていただいた中で、自身も得た知識や新たな視点を学びました。これからも取り組んでいくノーフティングケアの歩みを止めずに、新しいものをどんどん取り入れ、仲間と一緒に進んでいきたいと思ひます。また地域連絡協議会等、ほかの施設の皆さんとも協力し、ノーフティングケアを取り組む仲間を増やし盛り上げていきたいと思ひています。

社会福祉法人天神会
住宅型有料老人ホームこがケアアベニュー大石町、こがケアアベニュー縄手
清原 敬
施設長(介護福祉士)



3期生
講師経験
見習 1年目 講師経験 1年
法人内の介護事業所・病院にてノーフティングケアの勉強会を実施。

① 講師経験から気づいたこと、今後の抱負

指導を行う中で、先輩施設の取り組みをモデルとして提示しつつ、段階的に「自施設ではどのように活用できるか」を考えてもらえるような関わり方が重要であると考えています。今後は、事例紹介とあわせて問いかけや複数の選択肢を示すことで、各施設が主体性を持って取り組みを発展させていけるような支援を行ってきたい。

② 講師経験を通じて生じた自施設での取り組みの変化

皆さんの取り組みを確認する中で、毎回初めに帰る気持ちになります。自施設でも取り組みが十分でない部分に気づかされることがあり、特に新人職員や異動してきた職員への関わりについては、委員会メンバー全体で関与していく必要性を感じています。
そのため、自施設ではノーフティングケアを一部の担当者任せにせず、日常的な声かけや基本の共有を重ねることを意識するようになりました。講師経験を通じて、組織全体で基礎を大切にす姿勢が改めて強化されたと感じています。

③ 取り組み施設の皆様へのメッセージ

取り組みを行う上で完璧を目指すのではなく、「できるところから始め、継続すること」です。そして、現場で悩みや迷いが生じたときは、一人で抱え込まず、施設内で話し合い、外部の支援も活用しながら進めていただきたいと思います。

社会福祉法人小石原福祉会特別養護老人ホーム 能古清和園 3期生
久間 加奈子
介護福祉士(フロアリーダー)



3期生
2025年5月 技術認定試験合格
講師経験 講師見習 1年

・講師見習い経験者を通して気づいたこと

6期生のマネジメント研修に講師見習いとして参加させていただき、自分たちの一年目と比べて「すごい」「なんでこんなにできるのかな」という思いが毎回ありました。もちろん6期生の皆様が本当によく取り組んでおられる、というのが一番だとは思いますが、教材となるスライド資料の編集に講師の方々も尽力されていること、その材料として今までの取り組み施設の成功・失敗が反映されていることを目の当たりにし、「県の事業」として続いている歴史を感じました。具体的な計画になるようにして取り組み易くする工夫もされていると感じます。

・自施設の取り組みの変化

この事業に参加するまでは、他の施設様と交流するような機会もほとんどなく、わたし個人としては日々の業務をこなしているだけでしたが、ノーフティングケアを知る事、教えること、広めることを通じて視野・視点・受容力・マネジメント能力など様々な力がついてきていると感じています。今回、講師見習い経験を通じて、自施設での取り組み方のヒントになることもたくさんありました。「先日のマネジメント研修でこんな発表があつて...」と委員会メンバーに伝え、「すごいねつ。それいいねつ」という反応を感じるのには喜びでした。プロの介護士として介護の未来は明るいと思える材料をたくさんいただいています。

・今後の抱負

これからも、微力ではありますが、福岡の介護がより良くなるように、介護に誇りを持てるように皆さまとノーフティングケアを普及促進していきたいです。

・取り組み施設へのメッセージ

6期生の講師見習いをさせて頂き、みなさまの計画力、達成力に感心するばかりで、お役に立てたのかどうかとも不安ですが、ノーフティングケアを進めていく上で、必ず壁になることは出てくると思ひます。人員不足、目的の共有不足、研修不足。福祉用具不足。挫けそうになるときもあると思ひますが、取り組みメンバーの気持ちをひとつにして、1人でやらない。ということが一番大切だと思ひます。できないところばかり見るのではなく、できていることをきちんと自分たちで把握して、称え合うくらいでないと楽しく取り組めないと思ひるので、すこしずつでも確実に、地域と一緒に、続けていってほしいと思ひます。

技術研修統括講師

特別養護老人ホーム ふじの木園
白石 源成
作業療法士
統括マネージャー



統括指導講師

【新規取り組み施設の皆様へのメッセージ】

初めての技術研修ということもあり、緊張されている様子も見受けられましたが、学びを重ねる中で表情が和らぎ、次第に笑顔が増えていく姿がとても印象的でした。研修で身につけた技術は、これから福祉の現場で働くうえで必ず大きな力となり、ご利用者様はもちろん、共に働く仲間にも良い影響をもたらします。一歩ずつ着実に前へ進みながら、皆様とともに理想の職場づくりを実現していきましょう。

【取り組み6年目技術指導を担当しての気づきや感想】

研修の冒頭では、単に技術を身につけるだけでなく、「感謝・挨拶・思いやり」から始まるチームづくりの大切さについてお話ししました。技術そのものだけでなく、伝える側の所作や立ち居振る舞いによって、受け取る側の気持ちが大きく変わることもお伝えしました。実技研修では、これまで学んできた内容を振り返りながら、より深い学びに対して積極的に耳を傾け、自らの体で感じ取り、言葉と動きで表現されていました。その姿勢から、皆様の成長と意欲が強く伝わってきました。今回の研修を受講されたことで、皆様はこれまで以上に自信を持ち、職場での活動にも良い影響を与えていることと思います。地域には多くの仲間がいます。これからも共に歩み、支え合いながら前へ進んでいきましょう。

技術研修メイン講師

特別養護老人ホーム ことぶきの森
梁矢 利章
理学療法士
機能訓練指導員



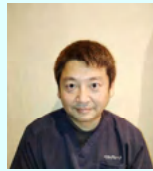
2018年9月第1回技術認定試験合格
2022年から県事業技術研修補助指導者

【感想】

今年度も技術講師を担当させていただいて、いつも感じる事ですが受講者の方の「習得しよう」という熱意が高く、それにきちんと対応しようと心がけていました。

そうした受講生との関わりの中で改めて感じたのは、受講生の方の後ろにいる施設の職員の方の存在でした。当たり前のことですが受講生がその職員の方々に伝え、実践していくことが重要となります。施設の職員の方が今までの習慣を変える事は決して容易な事ではないです。そのような職員の方の今までの経験を尊重しながら、行動に移せるような「伝え方」を今後も模索し続けていきたいと考えています。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

ベストライフ株式会社 介護複合施設 ひばり
佐藤 亮
管理者・介護支援員



1期生
2021.10 第3回技術認定試験合格

講師経験 講師見習い1年

気付いた事

講師見習いとして経験させて頂き、進めていく推進チームもしくは事業所のトップと現場の職員の温度差というのがやはり人数が多いところになればなるほど差があるように感じました。

その差を埋めていく、差がある毎に疲れて頓挫しない様な計画と修正・気持ちの向け方等を、今までの前例等を活用しマネジメントとして指導されている事は、今後も重要だと感じました。

またマネジメント講師の方々の資料・説明がイメージしやすいものに洗練されていた事も大きく、6期生が進めやすく感じたのでないかと思いました。

自身も全体の軌道修正・計画立案に講師見習いの立場で参加させて頂いた事でまた違う着眼点からの関わりで勉強になりました。

今後の抱負

当事業所もデイサービスと老人ホームという形式での事業参加という強みを活かして同じデイサービス等の周知・参加へ繋げていく手伝いができるようにスキルアップしていきたいと思えます。

講師経験から取組施設のメッセージ

参加されれば確実に一歩ずつ進むことができます！一緒に広めていきましょう！

介護老人保健施設 クリーンパル・ゆう
釜田 彩祥子
理学療法士



4期生
2025.5 技術認定試験合格
講師経験 講師見習い1年

（講師経験から気づいたこと・指導することの重要性やポイント）

今回初めて講師見習いとして参加させていただきました。講師の方々の「丁寧な説明」と「多くの具体例の提示」により受講されている施設の皆様の取り組み姿勢が前向きになっていく様子を見ることができました。自分たちの施設もまだ取り組みを始めてから3年目であり、これまでの活動を振り返りながら「うまくできている事」「うまくできない事」を改めて見つめ直すきっかけともなりました。指導の場面では自分自身の経験値がまだ少ないこともあり、受講されている施設の皆様の課題に対して明確なアドバイスができずに悩んだこともありました。しかし、先輩施設のこれまでの取り組みを参考にしたり、課題に向けて一緒に考えたりすることで方向性を示していけるようアプローチをしていく必要があると感じることができました。施設様ごとの特性を把握し、それぞれの強みや色を見つけながら計画作成・実行に繋げていけるようなアドバイスができるようになりたいと思えます。

（講師経験から自分の中で変化したこと）

今回の講師見習いから、改めてノーリフティングケアへの理解が深まりましたが、自分自身の中でまだできていない事を再認識させられたきっかけともなりました。自施設での現状と課題も明確に見えてきたことでこれまでの活動の見直しや再教育の必要性を感じました。自施設の中にも十分に伝えられていない事もたくさんあることが分かりました。「伝えていくこと」の難しさを痛感しています。

（今後の抱負）

講師見習いでの経験や、他の取り組み施設様の実践例も参考にしながら一歩ずつ前進していきたいと思えます。「伝えること」の経験値を増やし、施設へのノーリフティングケアへの理解をより深めていきたいです。

技術研修メイン講師

福岡地域・筑後地域担当
山田 健太
介護福祉士
福祉用具専門相談員



2019年4月 第2回技術認定試験合格
2021年から県事業技術研修補助指導者

【感想】

統括指導講師の元、楽しく技術研修を行うことを心掛けました。昨年度に引き続きの講師となりましたが、受講生の方は初めての県事業の技術研修の為、慣れることなく寄り添って技術を伝えていくことに気を付けました。道具の搬入、会場の設営等たくさん助けて頂きました。今後も、熱い心をもって、取り組んでいきたいと思えます。1年間ありがとうございました。

【メッセージ】

研修を受けて、自施設に広めていくことは大変かと思えます。技術は、何度も繰り返し練習することで、間違いなく上達すると思えます。自信をもって施設で広めていただければと思います。又、分からないときは先輩施設に相談できる横の関係を大事にしてください。笑顔で会える日を心待ちにしています。

6期生 マネジメント研修

6期生 マネジメント研修

6期生 7施設と再学習施設 2施設の 9施設 マネジメント研修 11日間実施

	6月 1回目	7月 2回目	9月 3回目	10月 4回目	12月 5回目	令和8年1月 6回目 個別フォロー
日程	6月25日	7月10日・11日	9月3日・4日	10月28日・29日	12月3日・4日	1月8日・9日
研修方法	全地域合同 オンライン	2グループに分けて実施 オンライン	2グループに分けて実施 オンライン	2グループに分けて実施 オンライン	2グループに分けて実施 オンライン	各施設への 個別対応 オンライン
教育内容	第1回 導入編 別紙参照	マネジメント 研修②	マネジメント 研修③	マネジメント 研修④	マネジメント 研修⑤	取り組みの振り返り 及び 実践報告スライド作成支援 ⑥ 事前スライド未提出施設は 2回実施
受講者数	6期生7施設28名	1日目14名 2日目13名	1日目15名 2日目15名	1日目14名 2日目16名	1日目14名 2日目15名	7施設の 代表者 合計12名

6期生マネジメント概論

6月25日

6期生マネジメント1回目概論

第1回 導入編

先輩施設からの実践事例の紹介

施設長の立場、先輩施設として伝えたいこと、
これから学ぶマネジメント教育とは・・・

6月25日マネジメント研修 1回目 概論のプログラム

9:30 受講者・講師等関係者のZOOM接続確認

9時50分 オリエンテーション

10:00~12:00 (120分) **パート1 マネジメントとは？ なぜ、マネジメント研修が必要！**
マネジメント強化プログラム (NPO法人 心の卵代表 佐々木講師)

12:00~13:00 (60分) 昼食

パート2 取組5年を経過し、多くの経験があるから伝えられること、伝えたい事！

13:00~13:30 (30分) 先輩施設 管理者の立場から気付いたこと
(常照苑くすのき通り施設長 横倉講師)

13:30~14:00 取組スタートに際して大切な事とは 先輩施設として伝えたい事
(ひまわり園 小早川講師・天神会複合施設 清原講師・なの国 石橋講師)

10分休憩

パート3 第一ステップとして、6回に分けて学ぶマネジメント研修について

14:10~15:40 (90分) これから学ぶマネジメント研修の概要について
(統括講師 本陣園 川端講師・桜の丘 入江講師)

10分休憩

パート4 事務局として、5年間の取組から見えたこと等をお伝えします！

15:50~16:20 (30分) これまでの5年間の取り組みについて 事務局 大山
16:20~16:50 (30分) これまでの研修から気付いたこと NPO福祉用具ネット理事長 坂田

7月からのマネジメント研修に向けて

16:50~ 次回に向けて確認事項等 統括講師より

17:00 終了

6期生マネジメント研修 オンライン研修

2回目 7月10日・11日

3回目 9月 3日・ 4日

4回目 10月 28日・ 29日

5回目 12月 3日・ 4日

講師陣は先輩施設。何を教えて欲しいか、自分たちの取組で難しかったことは何か、実体験を踏まえた具体的な講義資料を作成し講義に活かした！

第1回マネジメント研修 概論

2025.6.25

先輩施設からのメッセージ

「一燈を掲げて暗夜を行く。
暗夜を憂うこと勿れ。
只だ一燈を頼め。」
(言志四録)

取組スタートに際して
大切なこととは
先輩施設として伝えていこと

参加施設
新規取組施設
6期生及び
希望施設
が聴講

講師はモデル
施設から3年
間講師経験を
積んだ先輩が
担当。
さらに次の講
師も育成中。

実体験を指導
に反映させた
分かり易い講
義

新規取組施設6期生 第2回マネジメント研修 2025.7.10 1日目

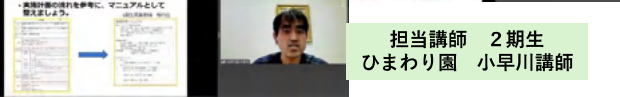
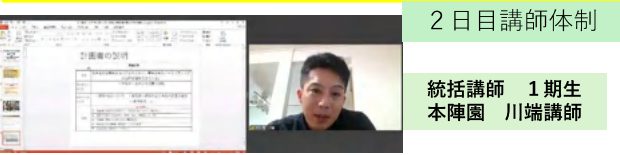
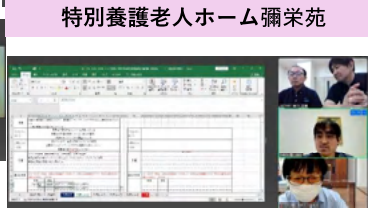
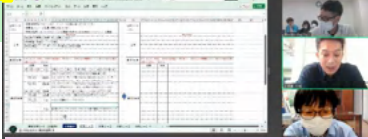
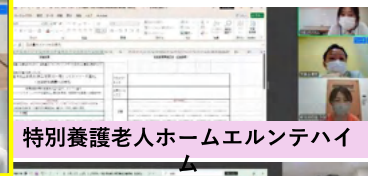
最後の時間は作成した計画の発表

演習指導には、講師見習として、新たに2名も参加。
1期生 介護複合施設ひばり 佐藤氏
4期生 クリーンバル・ゆう 釜田氏

統括講師 桜の丘1期生 入江講師
司会進行と全体サポートは山形講師
担当講師 2期生なの国 石橋講師

各施設毎に分かれて4項目の計画立案には4名の講師が個別指導

新規取組施設6期生
第2回マネジメント研修 2025.7.11 2日目



新規取組施設6期生
第3回マネジメント研修 2025.9.3 1日目



7月からの
取組みの結果報告



新規取組施設6期生
第3回マネジメント研修 2025.9.4 2日目



取組報告と達成度の報告



新規取組施設6期生
第4回マネジメント研修 2025.10.28 1日目



1日目担当講師

先輩施設として経験を活かした指導



まずは9月初めに計画した結果報告。その後、それらの結果を踏まえて今後の取り組み計画を作成。

2日目担当講師陣

司会進行 山形講師

入江統括講師

本日のスケジュール

9月からの取組報告 3施設

取組体制の変化に伴う再学習の2施設

久間講師見習

次回までの計画書作成

清原講師

小早川講師

えびね荘 エルンテハイム 彌栄苑

エレンテハイム

えびね荘

司会 山形 統括講師 川端
担当講師 坂田・清原・小早川
講師見習学習 久間

6期生 取組施設
えびね荘 エルンテハイム 彌栄苑
再学習 朝老園ひさみつ ことぶきの森

課題

リスクマネジメントや教育計画等、6項目について半年間の月ごとの計画を作成。次回の報告は半年後

6期生 取組施設
老健ささおか マイライフさくら
鹿助荘 白川園

計画3-④

担当講師 司会 山形 統括講師 入江
坂田・石橋 講師学習 佐藤・釜田

入江統括講師

石橋講師

今回の特別講義
【福祉機器のメンテナンスについて】
リフト等の導入が多くなり新たなニーズに対応
NPO福祉用具ネット坂田理事長が担当

坂田講師

6期生マネジメント研修 6回目 1月8日・1月9日 個別支援

6月からの取り組みを振り返り実践報告に向けての準備



6期生の個別面談 1日目

2026. 1.8

半年間の取組を振り返り、
実践報告に向けて準備

福岡地域・北九州地域の6期生4施設

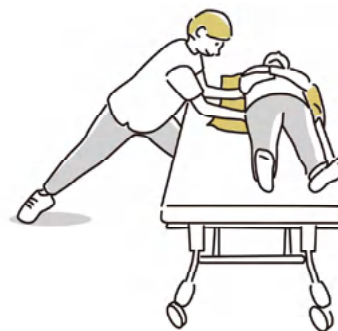
- ・老健ささおか
- ・特別養護老人ホーム鹿助荘
- ・マイライフさくら
- ・白川園



6期生 基本技術研修

7月・8月・9月・10月

合計4日間



6期生の個別面談 2日目

2026. 1. 9

半年間の取組を振り返り、
実践報告に向けて準備

筑後地域の6期生3施設

- ・特別養護老人ホーム えびね荘
- ・特別養護老人ホーム 彌栄苑
- ・特別養護老人ホーム エルンテハイム



6期生 基本技術研修

	1回目	2回目	3回目	4回目
日程	7/24	8/21	9/18	10/22
会場	パラマウント ベッド(株) 研修室	パラマウント ベッド(株) 研修室	パラマウント ベッド(株) 研修室	パラマウント ベッド(株) 研修室
	6期生7施設全地域		各施設より2名の参加	
研修内容	STPE1ノーリフティングケアの必要性と理解STEP2-②身体の使用の方STEP4-①寝返りSTEP4-②起き上がりSTEP4-③立ち上がりSTEP4-④ 座り直し	STEP5-①② シート横移動 上方移動STEP5-④⑤ シート 敷き込み抜き取りSTEP5-⑧ トランスファーボードの使用の方(車いす・ボード)	1回目と2回目全項目復習	リフト・スタンディングリフト種類と使い方
受講者数	14	14	14	14 見学希望 1名
見学学習者	5名	5名	4名	4名

メイン講師 白石氏、講師 染矢講師と山田講師が担当

新規取組施設 6期生の基本技術研修スタート
 第1回目 2025.7.24 9時30分～17時
 参加施設7施設14名及び技術見学学習者5施設から5名が受講



新規取組施設 6期生 第3回目
 2025.9.18(木) 9時30分～17時
 6期生7施設・見学学習4施設・講師体験1施設
 (担当講師 白石講師、染矢講師、山田講師)



リフトを除く基本技術の総復習として実施。各基本技術の理解と伝え方について学び、その結果を発表。わずか3回の技術研修で頼もしい6期生になりました。来月はリフト研修です。

新規取組施設 6期生
 第2回目 2025.8.21 9時30分～17時



技術指導者は、
 白石講師・染矢講師・山田講師
 6期生7施設と4期生見学学習4施設が受講

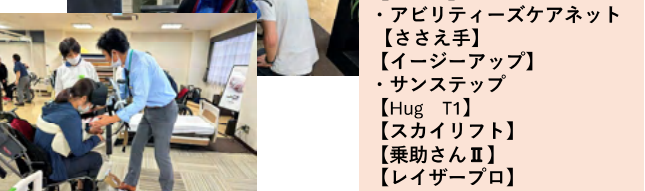
研修内容は7月に実施した1回目の復習及び
 ボード・シート・グローブについて学びました！

新規取組施設 6期生 4回目の技術研修 2025.10.22
リフト&スタンディングリフトの体験学習

協力企業 アンバサンド様・アビリティーズケアネット様、モリトー様、
 いうら様、パラマウントベッド様、ウェルパートナーズ様、サンステップ様



パラマウントベッド様から
施設対象の最新福祉機器
の紹介



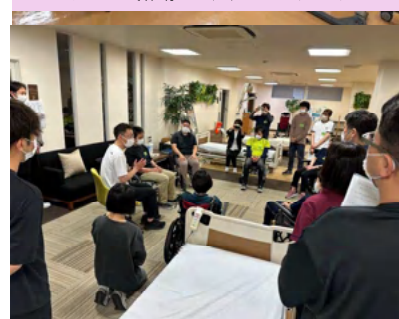
協力していただいた
スタンディングリフトの機種

- ・ウェルパートナーズ
【スマイル】
- ・いうら
【オンプ】
- ・アビリティーズケアネット
【ささえ手】
- 【イージーアップ】
- ・サンステップ
【Hug T1】
- 【スカイリフト】
- 【乗助さんⅡ】
- 【レイザープロ】

5期生の技術復習研修
第1回目
2025.4.23
5期生10施設20名と
見学学習4名が受講



チーム職場づくりのポイント



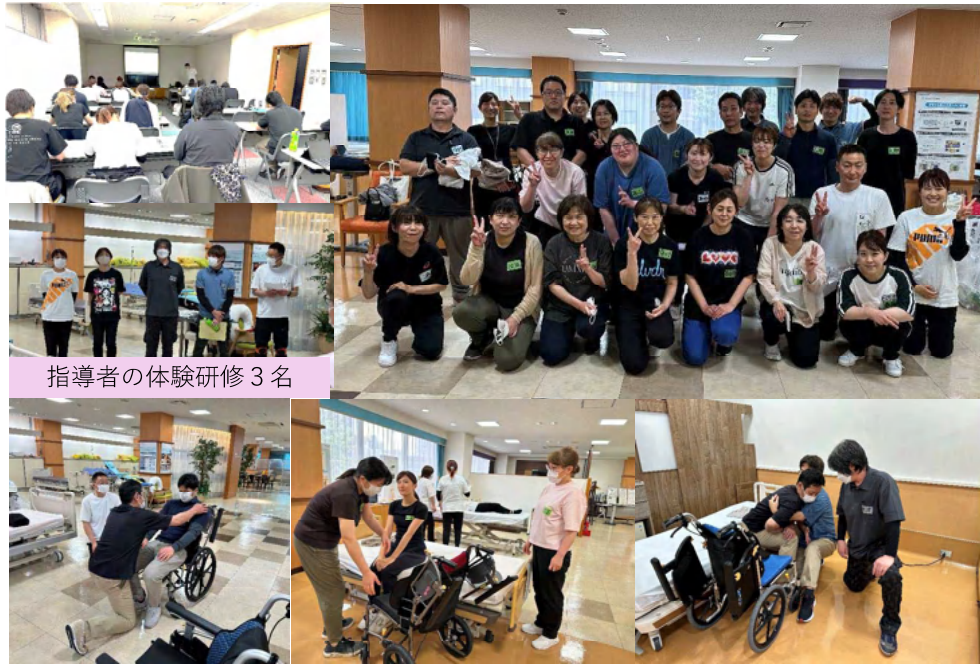
5期生技術復習研修2日目 2025.5.21

5期生技術補習研修

	1回目	2回目	3回目
日程	4/23	5/21	6/19
内容	STEP1ノリフ ティングケア の必要性と理 解STEP2-②身 体の使い方 STEP4-①寝返 りSTEP4-②起 き上がり STEP4-③立ち 上がりSTEP4- ④ 座り直し	STEP5_①② シート横移動 上方移動STEP5- ④⑤ シート 敷き込み 抜き 取りSTEP5-⑧ トランスファー ボードの使い方 (車いす・ポー ド)	1回目と2回目全 項目 技術認定試験合 格者の指導体験 を兼ねる
受講者数	20名 見学4名	17名 見学4名	14名 見学5名

メイン講師 白石氏、講師 染矢講師と山田講師が担当





指導者の体験研修3名



リーダーの心得について1時間の座学
ポジショニングクッションの協力(株)タイカ様
リフトの協力はパラマウント様とサンステップ様

技術リーダー育成

日程	4/24	6/18	7/17	10/23
	1回目	2回目	3回目	4回目
		2日間の内、希望日程に受講		1期生～3期生施設が対象
	ポジショニング含む、指導技術を学ぶ	教育テキスト 技術認定試験合格者の指導体験を兼ねる	教育テキスト 技術認定試験合格者の指導体験を兼ねる	ポジショニング
		技術リーダーの指導体験を兼ねる	技術リーダーの指導体験を兼ねる	
受講者数	16名 見学5名	17名	20名 見学6名	29名

メイン講師 白石氏、講師 染矢講師と山田講師が担当

モデル施設新人職員対象の技術のフォローアップ研修 前半の部 2025.6.18 第1班



指導者の体験研修4名

モデル施設新人職員対象の技術のフォローアップ研修
商品紹介 2025.6.18



研修のために訪れた会場はパラマウントベッド株式会社
せっかくの機会なので、最先端の介護に関する用具の紹介をしていただきました。



1期生から3期生までの施設を対象とした
技術のフォローアップ研修 第2班
2025.7.17



1期生～3期生対象 **ポジショニング技術研修** 2025.10.23
協力企業 タイカ様、パラマウントベッド様、サンステップ様(ヒトラゴ)



県事業サポートのために企画
NPO福祉用具ネット特別企画『技術認定試験』を今年度も実施

令和7年度にも、NPO福祉用具ネット主催
技術認定試験合格者14名が新しく誕生

これまでの合格者とともに、現在35名の指導者が
各地域連絡協議会主催の
技術研修をサポートしてくれています♡



第5回 NPO福祉用具ネット主催 ノーリフティングケア技術認定試験
2025.5.22実施
(会場協力 パラマウントベッド株式会社 福岡支店様)



令和7年度 取組施設内に技術認定試験合格者が在籍している施設

	筑豊地域	筑後地域	福岡地域	北九州地域
1	1. 明日香園 3名	1. 常照苑くすのき通り 2名	4. 美さと	1. ねむのき 4. マナハウス 1. ぶじの木園 2名 5. 翡翠苑
2	1. 介護複合施設 ひばり 2名	1. 桜の丘 2名	5. 第2ひじり園	1. 仙寿苑・はまぼう 4. 白熊園 1. 風の家 6. 白川園
3	1. 本陣園	2. アルテナイムヨコクラ 2名	5. ひじり園うきは	2. フレンドビーチちはや 4. 陽だまり 2. 足原のぞみ苑
4	2. ことぶきの森	2. 常照苑 サンシャイン	5. やひめ	2. なの国 5. サンガーデン 2. みやこの苑
5	2. くぬぎ苑	3. 天神会複合施設	6. えびね荘	3. 初花 5. しろくま野方 2. 博愛苑
6	2. ひまわり園	3. 八女の里	6. エルンテハイム	3. 次郎丸の里 5. 花みずき 3. 石並園 3名
7	3. はくりゆう園	3. 朝老園 ひさみつ	6. 彌栄苑 (いやさかえん)	3. 能古清和園 6. 老健センター ささおか 4. 杜の家
8	3. ほ乃ぼの園	3. 宝珠の郷		3. つくも苑 6. マイライフさくら 4. ユニット型 みやこの苑
9	4. 筑穂桜の園	4. クリーンパル・ゆう		4. サンシャインプラザ 6. 鹿助荘 (ろくすけそう) 4. グループホームくもじ
10	5. 福智園	4. 紅葉樹		4. ケアセンター ひまわり苑 4. 垣生の里
合計	10施設 11名	17施設 10名	19施設 7名	12施設 7名

1施設に複数人いる施設もあり

11項目について10名の講師が技術の見せ方・伝え方の
評価基準に沿って判定



NPO福祉用具ネット主催
 第5回技術認定試験追加試験実施
 5月22日体調不良にて受験困難者のための
 予備日程として開催 4名が受験

会場協力
 みやま市
 (有)サンステップ様



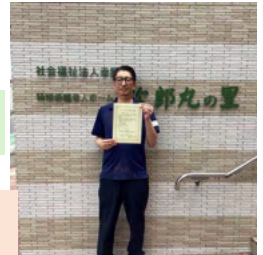
福岡地域



つくも苑 太田様

つくも苑 次郎丸の里 能古清和園
 ケアセンターひまわり苑 白熊園

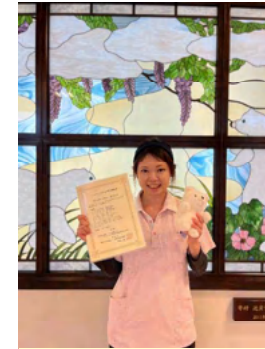
7年度NPO福祉用具ネット主催
 技術認定試験合格者



次郎丸の里 浦田様



ケアセンターひまわり苑
 立石様



白熊園 西様



能古清和園 久間様

7年度NPO福祉用具ネット主催
 技術認定試験合格者

筑後地域

アルテンハイムヨコクラ
 常照苑サンシャイン
 桜の丘
 常照苑くすのき通り
 天神会複合施設
 クリーンパル・ゆう
 宝珠の郷



桜の丘 鐘水様



アルテンハイム
 ヨコクラ 城間様



宝珠の郷 梶原様

令和7年度の技術認定試験合格者
 14名の皆様を紹介いたします。



常照苑くすのき通り
 石川様・堀上様



クリーンパルゆう
 釜田様



天神会複合施設
 西山様

7年度NPO福祉用具ネット主催
技術認定試験合格者

北九州地域

ふじの木園、石並園



石並園 末吉様



ふじの木園 林様



石並園 貴戸様



石並園 濱吉様

筑豊地域

介護複合施設ひばり
ほ乃ぼの園



ほ乃ぼの園 浅原様



介護複合施設ひばり
荻野様

令和6年度取組証書授与

取組証書授与から心機一転7年度の取組みをスタートしました。

令和6年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
取組証書



1～3期生

4期生

5期生

地域連絡協議会 活動報告

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業は
取組から6年を経過しました。
これからも地域中心の取組を目指しています



- ①筑豊地域
- ②筑後地域
- ③北九州地域
- ④福岡地域

各地域の活動の詳細は
地域リーダーからの活動報告(報告動画)をご参照ください!!

福岡地域の仲間たち

1期生から5期生まで

1期生



特別養護老人ホーム ねむのき

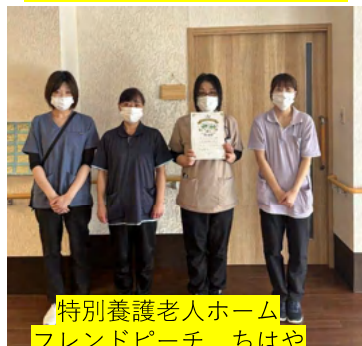


特別養護老人ホーム 仙寿苑・ほまぼう

2期生



特別養護老人ホーム なの国



特別養護老人ホーム フレンドビーチ ちはや



特別養護老人ホーム 白熊園

4期生



特別養護老人ホーム サンシャインプラザ



介護老人保健施設 ケアセンター ひまわり苑



特別養護老人ホーム マナハウス



特別養護老人ホーム 陽だまり

3期生



特別養護老人ホーム 初花



特別養護老人ホーム つくも苑



特別養護老人ホーム サンガーデン

5期生



特別養護老人ホーム 次郎丸の里



特別養護老人ホーム 能古清和園



小規模多機能居宅介護 花みずぎ



看護多機能居宅介護しろくま野方

北九州地域の仲間たち

1期生から5期生まで

3期生



特別養護老人ホーム 石並園

4期生



特別養護老人ホーム 垣生の里



グループホームくもじ

5期生



介護老人保健施設 翡翠苑



特別養護老人ホーム ユニット型みやこの苑



特別養護老人ホーム 杜の家

1期生



特別養護老人ホーム ふじの木園



特別養護老人ホーム 風の家

2期生



特別養護老人ホーム みやこの苑



特別養護老人ホーム 足原のぞみ苑



介護老人保健施設 博愛苑

筑後地域の仲間たち

1期生から5期生まで

1期生



特別養護老人ホーム
常照苑くすのき通り



特別養護老人ホーム
桜の丘

2期生



特別養護老人ホーム
常照苑サンシャイン



介護老人保健施設
アルテンハイムヨコクラ



介護老人保健施設 クリーンパル・ゆう



特別養護老人ホーム 紅葉樹

4期生



介護老人福祉施設 美さと

3期生



特別養護老人ホーム
朝老園ひさみつ



天神会複合施設

5期生



介護医療院 やひめ



特別養護老人ホーム 第2ひじり園



特別養護老人ホーム
宝珠の郷



特別養護老人ホーム
八女の里



特別養護老人ホーム ひじり園うきは

筑豊地域の仲間たち

1期生から5期生まで

2期生



特別養護老人ホーム くぬぎ苑



特別養護老人ホーム ひまわり園



特別養護老人ホーム ことぶきの森

3期生



特別養護老人ホーム はくりゅう園



介護老人保健施設 ほ乃ぼの園

4期生



特別養護老人ホーム 筑穂桜の園

5期生



特別養護老人ホーム 福智園

1期生



特別養護老人ホーム 明日香園



介護複合施設ひばり



特別養護老人ホーム 本陣園

令和7年度 地域連絡協議会活動実績 (合計32日間)								
地域	1	2	3	4	5	6	7	8
筑豊地域	4月25日 懇親会	6月20日 オンライン 進捗報告	8月28日 オンライン 実践報告	10月15日 オンライン 実践報告	11月11日 11月12日 設営・ 第2回 フォーラム	12月17日 実践報告	2月18日 オンライン	
筑後地域	5月20日 藝文館 打ち合わせ	6月12日 オンライン 進捗報告	8月22日 オンライン 実践報告	10月16日 オンライン 進捗報告	11/10 技術研修会	11/21設営 11/22 みやま市イ ベント	12/19 実践報告 九州大谷短期 大学 懇親会	2/9 久留米 打合せ
福岡地域	4月22日 打ち合わせ	6月24日 オンライン 進捗報告	8月26日 白熊園 ハイブリッドな 国 取り組み報告 フォーラム打ち 合わせ	10月30日 白熊園 ハイブリッド	11月5日 無料体験会	12月23日 オンライン 実践報告	2月24日 ハイブリッド開 催	
北九州地域	5月16日 5期生進捗報告 懇親会 北九州福祉用 具プラザ	7月22日 オンライン 取り組み体制 について	9月26日 オンライン 進捗報告3施設	10月17日 リーダー打合 わせ風の家 11/19 技術研修会 アンバサンド	12月18日 オンライン 実践報告	1月22日 オンライン 取組相談	3月17日 オンライン	

筑後地域地域連絡協議会主催 実践報告会を公開中

令和7年度取り組み報告

令和7年12月19日に開催された「令和7年度実践報告会」の中で、本事業の取組施設が実践報告を行いました。
また、実践報告会の中で、九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻の学生の皆様にも、本事業の筑後地域連絡協議会の活動からノーリフティングケアについて学んだことを発表していただきました。

下表の施設名をクリックすると、動画を視聴することができますので、是非ご覧ください。

動画	発表スライド
特別養護老人ホーム桜の丘	ノーリフティングケア6年目 進化から深化へ一歩一歩に近づいたその先へ [PDFファイル/2.39MB]
特別養護老人ホーム 紅葉街	これまでの歩み、これからの歩み～ノーリフティングケア3年目～ [PDFファイル/3.58MB]
介護老人福祉施設 美さど	続ける力が生む進化～ノーリフティングケア 3年目の取り組み～ [PDFファイル/5.44MB]
介護老人保健施設 クリーン/ル・ゆう	次へのステップアップへ～3年目の挑戦～ [PDFファイル/2.42MB]
介護老人保健施設アルデンハイムヨコエ	前点設備～それは前に進むためのリセット～ [PDFファイル/887KB]

特別養護老人ホーム常盤坂くすのき通り	全館主役の技術改善～ノーリフティングケアでHAPPYに～ [PDFファイル/1.86MB]
特別養護老人ホーム 朝老園ひまわり	ノーリフティングケア再スタート～こんなはずではなかった。からの再挑戦～ [PDFファイル/2.93MB]
特別養護老人ホーム 常盤園サンゼイン	ノーリフティングケアを当たり前に～更なる定着と輝き～ [PDFファイル/2.13MB]
九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻	ノーリフティングケア体験報告～介護される人、する人、双方の安全と安心を目指して～ [PDFファイル/1.28MB]
特別養護老人ホーム 宝珠の郷	安心・安全な職場に向けて [PDFファイル/1.08MB]
特別養護老人ホーム八女の里	ノーリフティングケア 4年目の進化 [PDFファイル/5.36MB]
社会医療法人天神会復合施設	～指がに張りついて、そして新たな福祉用具の挑戦～ [PDFファイル/2.19MB]

2025.12.19 会場 九州大谷短期大学生涯学習センター **参加者総数 132名**



会場は溢れでしまうほど満員！ 介護施設や病院、高等技術専門校の学生さんなどが参加

筑豊地域連絡協議会主催ノーリフティングケアフォーラムの発表を公開中

取り組み報告

令和7年11月12日に開催された「ノーリフティングケアフォーラム」の中で、本事業の取組施設が実践報告を行いました。

下表の動画をクリックすると、動画を視聴することができますので、是非ご覧ください。

動画	発表スライド
介護複合施設ひばり	ノーリフティングケア～続ける事の大切さと失敗から学ぶ軌道修正～ [PDFファイル/9.28MB]
特別養護老人ホーム本陣園	独自の発展を遂げたノーリフティングケア体制～体制づくりや職員教育のヒント～ [PDFファイル/2MB]



令和7年度地域連絡協議会の活動はホームページをご覧ください

福岡県内4地域の取組報告や今後の予定について更新しています。

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業(地域連絡協議会)

更新日: 2026年1月19日更新 印刷

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業では、令和3年度からモデル施設が中心となって福岡県下4地域(北九州地域、福岡地域、筑後地域、筑豊地域)に分かれて実施する地域連絡協議会の、情報交換及び地域への普及活動を支援しています。

このページでは、各地区の地域連絡協議会の取組報告や今後の予定について更新します。

また、別ページ「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」には、事業の詳細やこれまでの実践報告の動画を掲載していますので、あわせて御覧ください。

【目次】

[1.地域連絡協議会の参加者\(聴講者\)を募集します！](#)

[2.各地区地域連絡協議会の取組について](#)

・北九州地域連絡協議会



令和7年度実践報告は福岡県ホームページに公開中

令和7年度実践報告施設は31施設と4つの地域連絡協議会の報告動画を公開！
 新規取組施設 6期生 7施設
 2年目取組施設 5期生 8施設
 1期生～4期生のモデル施設より各地域代表16施設
 県内4つの地域連絡協議会活動報告



ノーリフティングケアとは、持ち上げ・抱え上げ・引きずりなどのケアを廃止し、リフト等の福祉用具を積極的に使用することにより、職員に負担のかかる作業を見直すものです。ノーリフティングケアにより、腰痛の減少のみならず、介護の質の向上や業務改善などの効果が期待されています。また、ノーリフティングケアは、職員と利用者の距離を保つことができるため、感染症対策にもなると考えられています。

本県では、職員の身体的負担が生じるリスクを低減させ、職員が安全で働きやすい職場をつくることを目的として、令和2年度からノーリフティングケア普及促進事業を実施しており、令和4年度までに県内4地区から全35施設のモデル施設を選定しました。また、令和5年度には15の新規取組施設も加わ

福岡県ノーリフティングケア地域連絡協議会活動への参加申込書 施設からのお申し込みを歓迎いたします。

(但し、やむを得ない事情がある場合は個人参加でも可能) 参加希望地域を選んで下さい！

参加希望地域

・ 筑豊 ・ 筑後 ・ 北九州 ・ 福岡

① 名前 ふりがな	② 職種
③ 施設・事業所名	
部署	
④ 住所 〒	
⑤ ☎ FAX	
⑥ E-mail 連絡やZOOMのご案内に利用しますので必ず記載してください。	

必ずメールでお申し込みください！メールにて、開催連絡を致します。

お申し込み・お問い合わせ先 福岡県田川市伊田4395番地 福岡県立大学内
 特定非営利活動法人NPO福祉用具ネット 担当大山
 電話/ファックス 0947-42-2286

E-mail : npo-fukusiyounet@sage.ocn.ne.jp

福岡県では令和2年度 of 取組当初から下記の調査を実施してきました！

施設の概要

2025. 12 調査実施

ベッド数・平均要介護度・介護職員数
 ・平均年齢・介護職員以外の職員数

福祉用具環境
 介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果

事業受託者 特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット

6期生 (1年目の取り組み)							
施設名	老健センター ささおか	デイサービス センター マイライフさ くら	特別養護老人 ホーム鹿助荘	特別養護老人 ホームえびね 荘	特別養護老人 ホームエルン テハイム	特別養護老人 ホーム彌栄苑	特別養護老人 ホーム白川園
ベッド数/ショートステイ	100/5	74	70/10	65/12	50/10	56/6	67/16
平均要介護度	3	2	3.78	4.34	3.78	4.06	3.4
介護職員数	39	24	44	19	31	22	26
介護職員の平均年齢	41	41	44.1	34	43.4	35.8	48.87
介護職以外の職員数	47	14	17	2	13	8	6
福祉用具の整備状況							
スライディングシート	10	1	6	4	35	6	1
スライディングボード	3	1	8	4	12	5	2
グループ	4	2	35	26	2	2	2
リフト	0	3	3	0	0	3	0
スタンディングリフト	3	0	1	0	0	0	0
介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果							
常に痛い	16%	14%	5%	11%	7%	41%	37%
時々痛い	37%	41%	30%	74%	39%	45%	26%
合計	53%	55%	34%	84%	46%	86%	63%
殆ど抱え上げ介護	26%	5%	20%	58%	36%	59%	70%
一部抱え上げ介護	49%	82%	59%	37%	50%	36%	19%
合計	74%	86%	80%	95%	86%	95%	89%

5期生 (2年目の取り組み)								
施設名	特別養護老人ホーム福智園	特別養護老人ホームひじり園うきは	特別養護老人ホーム第2ひじり園	介護医療院やひめ	看護小規模多機能しらくま野方	地域密着型特別養護老人ホームサンガーデン	小規模多機能型居宅介護施設花みずき	介護老人保健施設翡翠苑
ベッド数/ショートステイ	107/10	70/20	39/10	48	18	40/10	7/7	106/2
平均要介護度	3.82	3.85	3.92	4.1	3.7	4.15	2.27	2.93
介護職員数	30	38	23	13	11	14	11	34
介護職員の平均年齢	42	38.8	45.96	54.2	45	38.43	52.9	42.47
介護職以外の職員数	28	9	9	20.6	7	7	4	22
福祉用具の整備状況								
スライディングシート	2	3	5	8	5	2	3	2
スライディングボード	16	6	2	3	6	1	1	4
グローブ	5	3	102	3	16	2	7	30
リフト	0	0	0	0	1	2	0	2
スタンディングリフト	0	0	0	0	0	0	0	0
介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果								
常に痛い	26%	21%	4%	31%	0%	6%	27%	19%
時々痛い	19%	50%	26%	54%	55%	50%	45%	39%
合計	44%	71%	30%	85%	55%	56%	73%	58%
殆ど抱え上げ介護	44%	13%	0%	31%	0%	25%	0%	53%
一部抱え上げ介護	37%	71%	70%	54%	91%	50%	91%	44%
合計	81%	84%	70%	85%	91%	75%	91%	97%

3期生 (4年目の取り組み)											
施設名	特別養護老人ホームはくりゆう園	介護老人保健施設ほのぼの園	天神会複合施設	特別養護老人ホーム八女の里	特別養護老人ホーム朝老園ひさみつ	特別養護老人ホーム宝珠の郷	特別養護老人ホーム初花	特別養護老人ホーム次郎丸の里	特別養護老人ホーム能古清和園	特別養護老人ホームつくも苑	特別養護老人ホーム石並園
ベッド数/ショートステイ	62/10	100	117	80/30	40/10	71/19	54/5	61/6	98/18	80/10	109/9
平均要介護度	3.8	2.23	2.86	3.8	3.48	4.1	4.22	3.85	3.4	3.66	3.2
介護職員数	24	31	40	23	15	27	28	29	39	40	37
介護職員の平均年齢	50.8	47.17	48.65	35.8	46.3	45.33	35	47.73	41.8	43	48.3
介護職以外の職員数	25	24	9	10	7	14	14	16	27	18	13
福祉用具の整備状況											
スライディングシート	8	5	13	7	10	4	1	5	24	30	20
スライディングボード	6	9	11	7	1	8	6	8	10	16	9
グローブ	7	29	4	2	1	20	10	22	17	40	100
リフト	1	2	5	2	0	1	3	0	6	7	4
スタンディングリフト	2	3	4	1	1	0	0	0	2	1	3
介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果											
常に痛い	27%	6%	0%	9%	13%	25%	13%	17%	5%	33%	24%
時々痛い	31%	45%	20%	45%	67%	32%	26%	41%	20%	30%	37%
合計	58%	52%	20%	55%	80%	57%	39%	59%	24%	63%	61%
殆ど抱え上げ介護	15%	3%	3%	41%	93%	39%	19%	34%	27%	15%	11%
一部抱え上げ介護	69%	70%	48%	50%	0%	50%	65%	52%	39%	60%	50%
合計	85%	73%	50%	91%	93%	89%	84%	86%	66%	75%	61%

4期生 (3年目の取り組み)													
施設名	特別養護老人ホーム筑穂桜の園	介護老人保健施設クレーンバル・ゆう	特別養護老人ホーム紅葉園	介護老人福祉施設美さと	特別養護老人ホームサンシャインプラザ	介護老人保健施設ケンターマナハウス	特別養護老人ホーム白熊園	地域密着型特別養護老人ホーム陽だまり	特別養護老人ホーム社の家	ユニット型特別養護老人ホームみやこの苑	グループホームくもじ	特別養護老人ホーム垣生の里	
ベッド数/ショートステイ	33/3	100/5	88/8	60/10	110/10	100	80/11	80/29	39/10	100	50	18	80/10
平均要介護度	4	2.98	4.01	3.75	3.5	3.12	3.89	3.95	3.72	3.64	3.8	2.17	3.77
介護職員数	21	28	48	24	60	43	32	48	17	43	28	14	23
介護職員の平均年齢	48.3	44.14	45.02	41	43.5	42.85	37.8	37	39.17	47.46	45.54	56.57	41.96
介護職以外の職員数	10	19	15	12	20	59	18	27	9	38	10	0	14
福祉用具の整備状況													
スライディングシート	12	15	13	4	28	19	13	18	6	18	4	3	4
スライディングボード	15	15	24	10	12	12	5	13	2	8	24	3	6
グローブ	8	25	30	8	27	60	10	37	3	203	31	26	7
リフト	4	2	4	2	2	2	7	4	2	2	1	0	1
スタンディングリフト	3	0	2	0	0	1	2	2	0	0	2	1	0
介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果													
常に痛い	5%	14%	2%	19%	32%	5%	3%	6%	6%	21%	26%	21%	28%
時々痛い	40%	46%	42%	38%	42%	45%	16%	33%	41%	41%	22%	36%	40%
合計	45%	61%	44%	57%	74%	50%	19%	39%	47%	62%	48%	57%	68%
殆ど抱え上げ介護	0%	14%	0%	43%	40%	26%	6%	12%	24%	49%	4%	0%	36%
一部抱え上げ介護	15%	82%	89%	48%	48%	50%	61%	76%	59%	46%	70%	43%	52%
合計	15%	96%	89%	90%	88%	76%	68%	88%	82%	95%	74%	43%	88%

2期生 (5年目の取り組み)											
施設名	特別養護老人ホームひまわり園	地域密着型特別養護老人ホームこぶきの森	特別養護老人ホームくもぎ苑	介護老人保健施設アルテンハイムヨコクラ	特別養護老人ホーム常照苑サンシャイン	特別養護老人ホームなごの園	地域密着型特別養護老人ホームフレンドピーチはや	特別養護老人ホームみやこの苑	特別養護老人ホーム足原のぞみ苑	介護老人保健施設博愛苑	
ベッド数/ショートステイ	100/19	39/10	93/20	100/5	41	100/20	40/7	61/10	100/20	100/6	
平均要介護度	3.9	4.2	3.11	3	3.17	3.4	3.93	4	3.7	3.32	
介護職員数	28	20	49	32	21	53	24	22	28	31	
介護職員の平均年齢	43.74	40.4	42.23	38.79	35.1	40.1	44.81	39.9	38	38	
介護職以外の職員数	20	11	69	32	10	25	9	6	20	22	
福祉用具の整備状況											
スライディングシート	5	1	20	15	27	10	3	15	9	3	
スライディングボード	8	4	16	8	10	14	4	14	5	7	
グローブ	10	4	31	10	18	53	8	51	2	多数	
リフト	3	2	17	0	1	5	3	2	5	2	
スタンディングリフト	0	0	14	0	1	0	0	3	0	2	
介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果											
常に痛い	10%	18%	35%	9%	0%	8%	8%	0%	18%		
時々痛い	41%	45%	39%	50%	22%	51%	33%	26%	5%	46%	
合計	52%	64%	73%	59%	22%	59%	42%	35%	5%	64%	
殆ど抱え上げ介護	0%	18%	8%	38%	17%	8%	0%	4%	0%	21%	
一部抱え上げ介護	66%	55%	67%	50%	50%	78%	25%	43%	23%	71%	
合計	66%	73%	76%	88%	67%	86%	25%	48%	23%	93%	

調査結果から分かったこと

調査結果から、ノーリフティングケアの実践には**福祉用具の適切な活用**が不可欠であることが明らかとなった。
 しかし、福祉用具を整備し適切に管理するとともに、利用者の身体状況を的確に評価したうえで適正に活用するためには、従来の介護方法を大幅に見直す必要がある。「抱えた方が早い」と考える職員が一定数存在する状況では、**ノーリフティングケアを組織文化**として定着させることは容易ではない。

意識改革を促し、福祉用具の活用環境を整備し、職員が適切に使用できるようにするためには、**組織全体で相互に支え合いながら、施設内に浸透するまで継続的に取り組む**ことが重要である。

その過程において、必要なマネジメント教育に加え、抱え上げない介護技術や身体の動きに関する学習は不可欠である。
 また、福祉用具の**計画的な整備**も同様に重要な要素である。

福岡県の調査によれば、これらの**環境整備や意識改革には概ね5年程度**の期間を要することが示されている。

容易な取り組みではないものの、介護職員および要介護者双方の身体的負担を軽減し、安全を確保するためには、**必ず実施すべき課題**である。

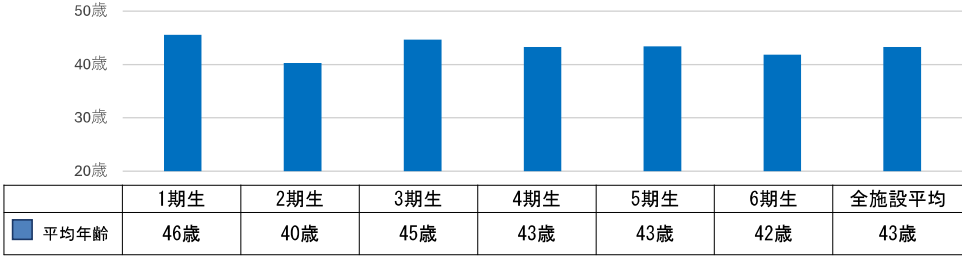
1期生（6年目の取り組み）									
施設名	特別養護老人ホーム本陣園	介護複合施設ひばり	特別養護老人ホーム明日香園	特別養護老人ホーム桜の丘	特別養護老人ホーム常照苑くすのき通り	特別養護老人ホーム仙寿苑・はまぼう	特別養護老人ホームねむのき	特別養護老人ホーム風の家	特別養護老人ホームふじの木園
ベッド数/ショートステイ	61/10	47	70/20	71/20	30/25	83/4	60/10	150/10	92/18
平均要介護度	3.9	2.74	4.2	3.9	3.8	4	4.25	3.35	3.52
介護職員数	36	25	23	19	28	35	21	82	48
介護職員の平均年齢	48.29	49.43	45.82	46.5	43	40	40.3	48	44.6
介護職以外の職員数	17	0	8	18	5	18	2	53	14
福祉用具の整備状況									
スライディングシート	45	4	17	36	32	7	17	27	51
スライディングボード	11	3	9	22	8	9	6	25	12
グローブ	49	19	10	15	30	29	26	82	51
リフト	3	3	6	1	2	5	6	9	19
スタンディングリフト	3	3	2	1	1	2	3	9	12
介護職の腰痛・抱え上げ介護の調査結果									
常に痛い	6%	28%	13%	0%	0%	10%	14%	12%	0%
時々痛い	31%	24%	13%	18%	14%	55%	38%	43%	4%
合計	36%	52%	26%	18%	14%	65%	52%	55%	4%
殆ど抱え上げ介護	0%	0%	0%	0%	3%	3%	5%	2%	0%
一部抱え上げ介護	28%	28%	26%	18%	24%	55%	81%	62%	6%
合計	28%	28%	26%	18%	28%	58%	86%	65%	6%

令和7年度取組施設の現況

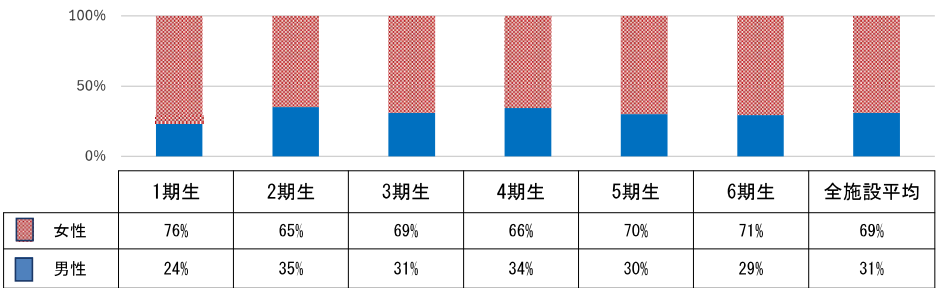
介護職員の平均年齢・男女比・腰痛・抱え上げ・持ち上げ調査の結果

- ① 令和7年度取組施設の介護職員 平均年齢
- ② 令和7年度取組施設の介護職員の男女比率
- ③ 1期生・2期生・3期生・4期生・5期生・6期生の腰痛者、6月と12月の各施設ごとの変化
- ④ 1期生・2期生・3期生・4期生・5期生・6期生の持ち上げや抱え上げ介護、6月と12月の各施設ごとの変化
- ⑤ 腰痛及び持ち上げや抱え上げ介護の1期生・2期生・3期生・4期生・5期生・6期生の変化の平均

取組施設の平均年齢（令和7年12月末現在）



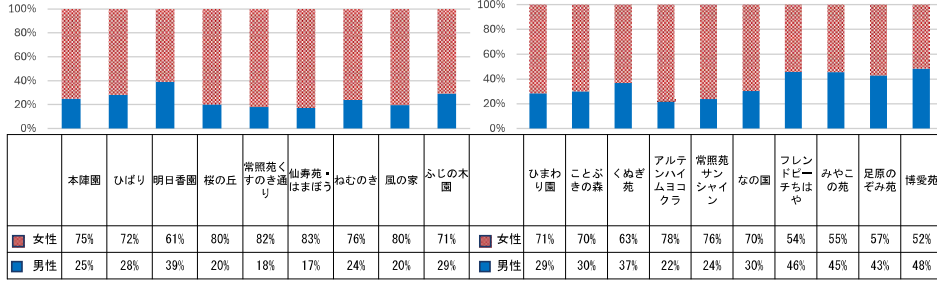
介護職員の性別の割合（令和7年12月末現在）



介護職員の性別

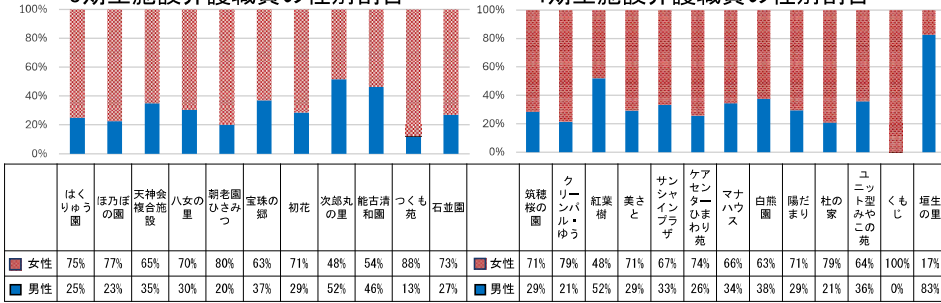
1期生施設介護職員の性別割合

2期生施設介護職員の性別割合



3期生施設介護職員の性別割合

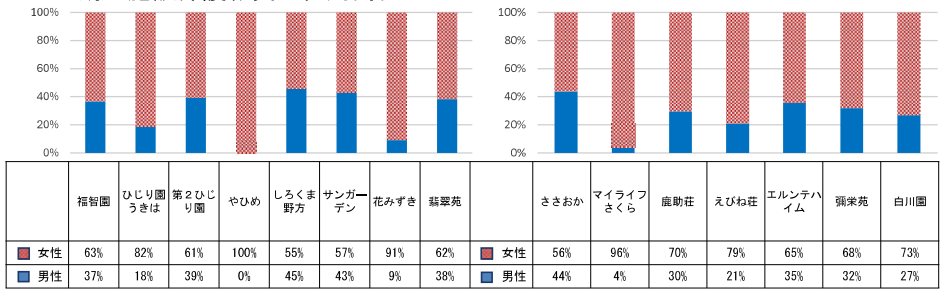
4期生施設介護職員の性別割合



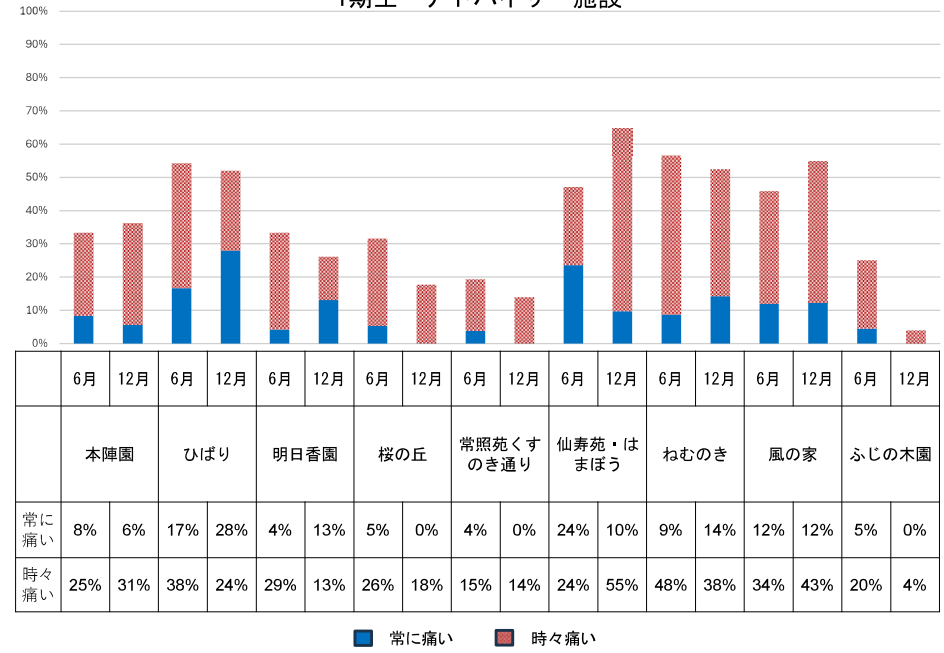
介護職員の性別

5期生施設介護職員の性別割合

6期生施設介護職員の性別割合

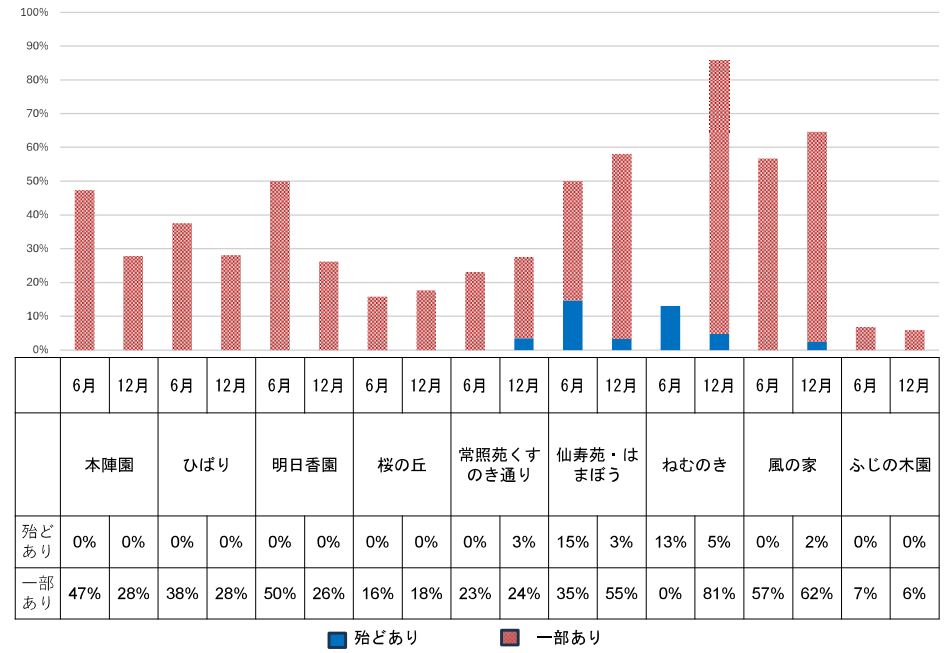


腰痛変化 1期生 アドバイザー施設



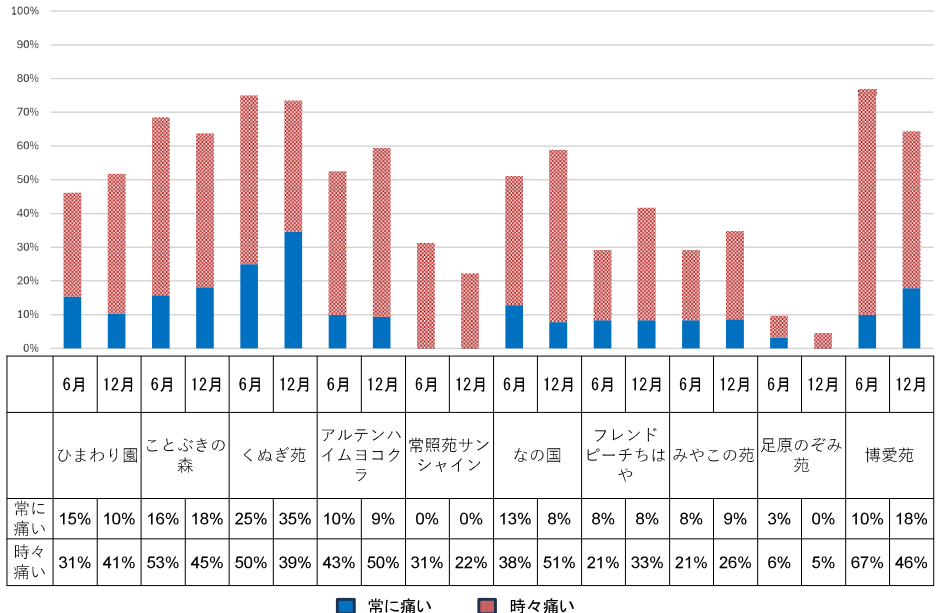
常に痛い 時々痛い

持ち上げや抱え上げ介助の変化 1期生 アドバイザー施設

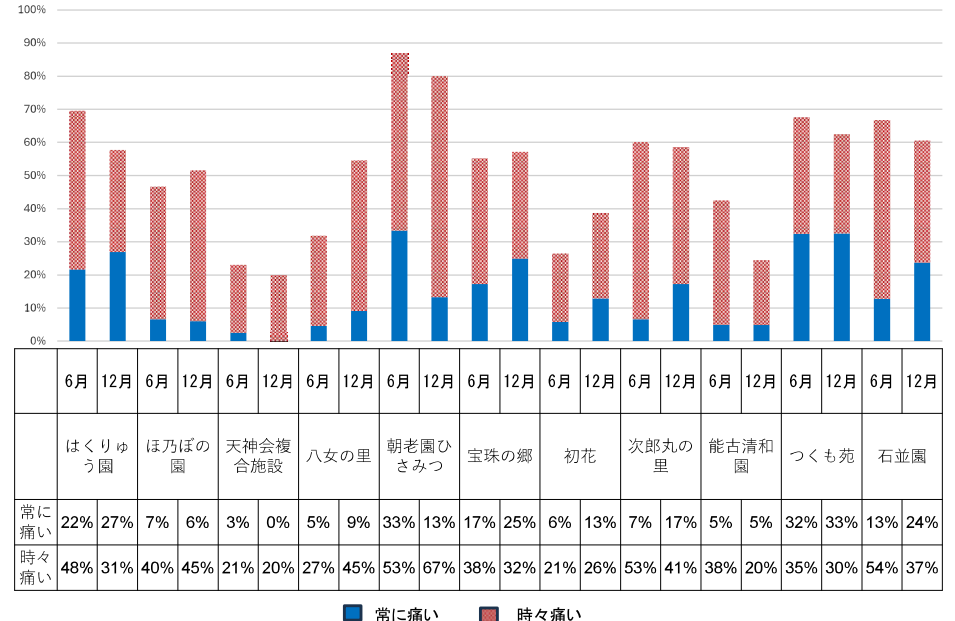


殆どあり 一部あり

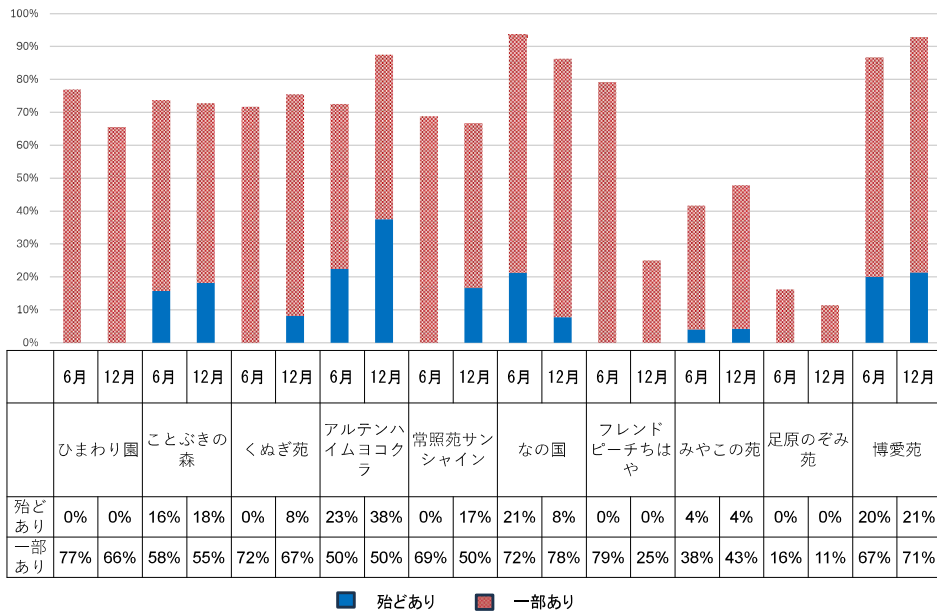
腰痛の変化
2期生 アドバイザー施設



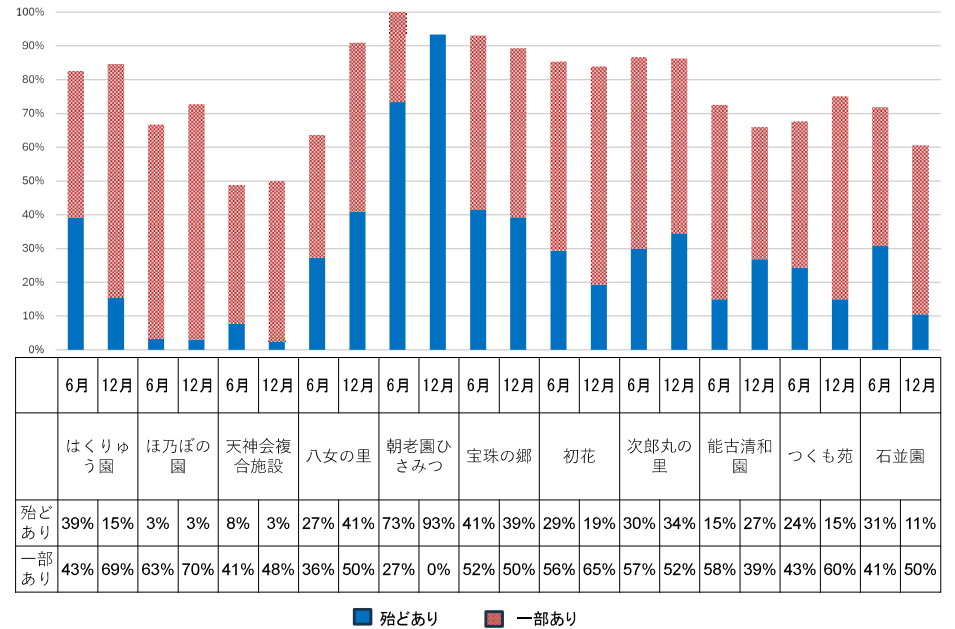
腰痛の変化
3期生 アドバイザー施設



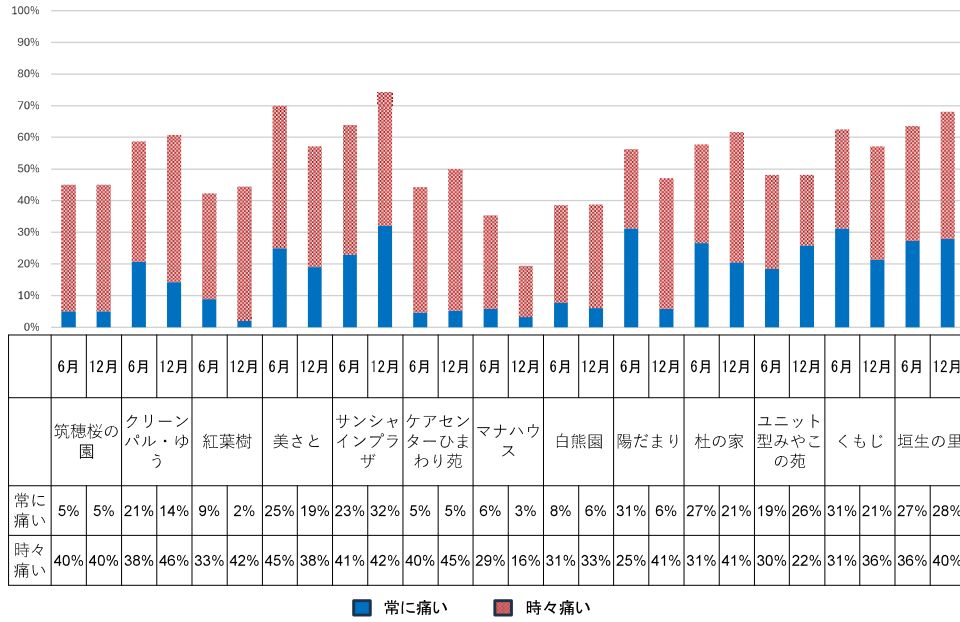
持ち上げや抱え上げ介助の変化
2期生 アドバイザー施設



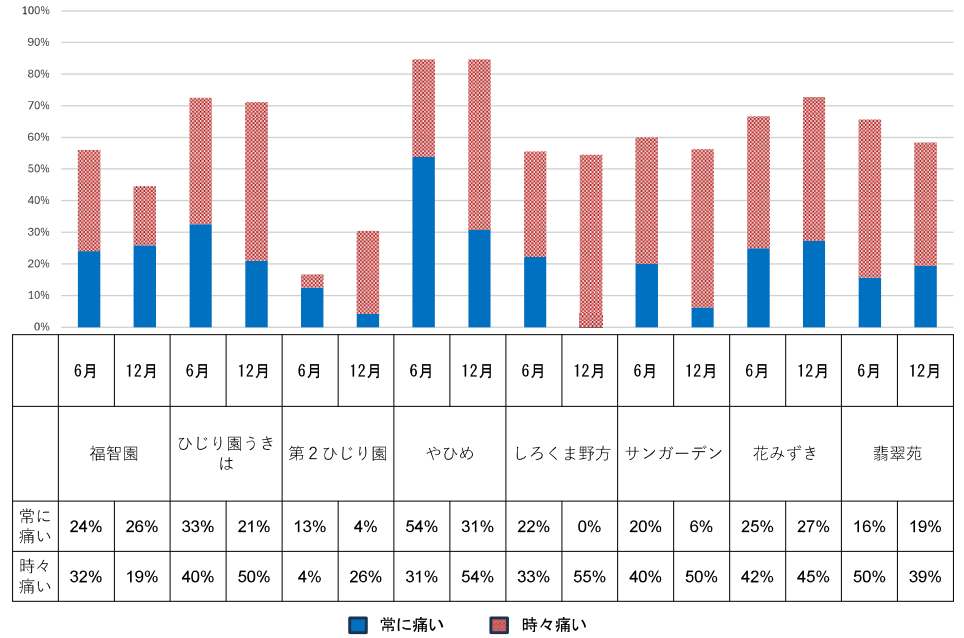
持ち上げや抱え上げ介助の変化
3期生 アドバイザー施設



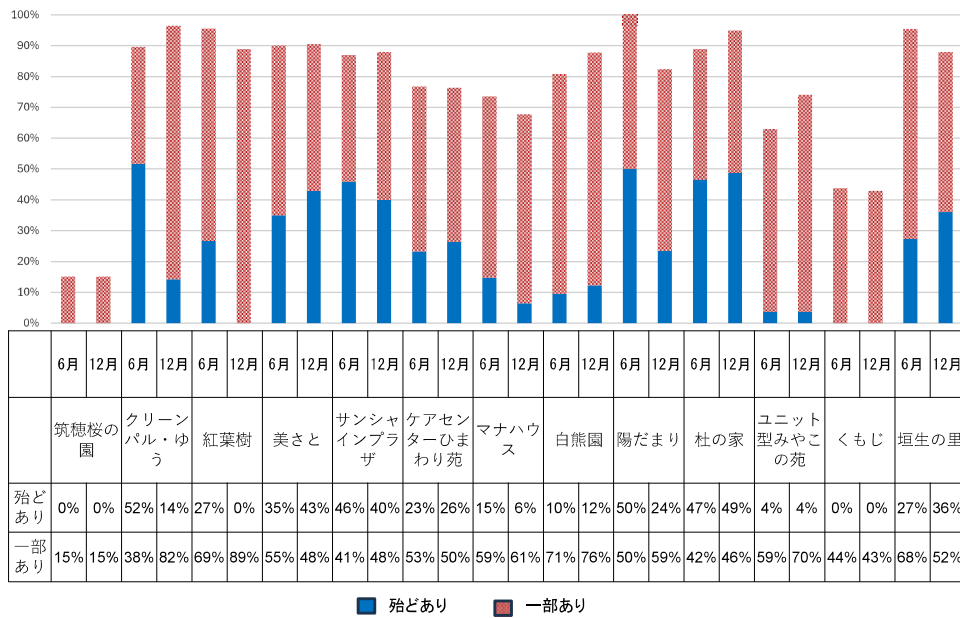
腰痛の変化
4期生 メンター施設



腰痛の変化
5期生 取組施設



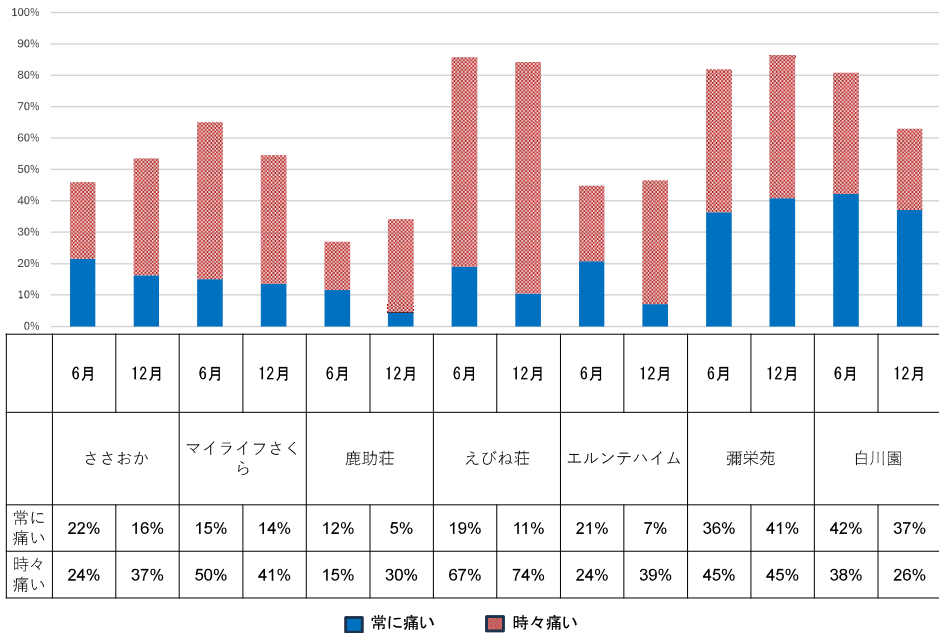
持ち上げや抱え上げ介助の変化
4期生 メンター施設



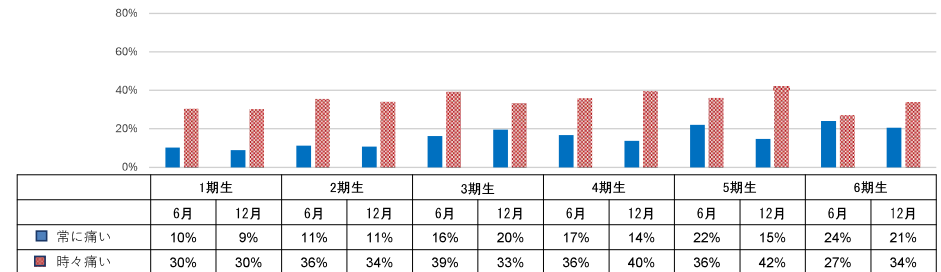
持ち上げや抱え上げ介助の変化
5期生 取組施設



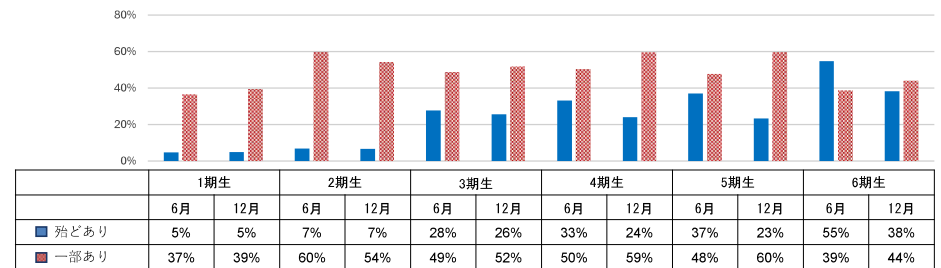
腰痛の変化
6期生 新規取組施設



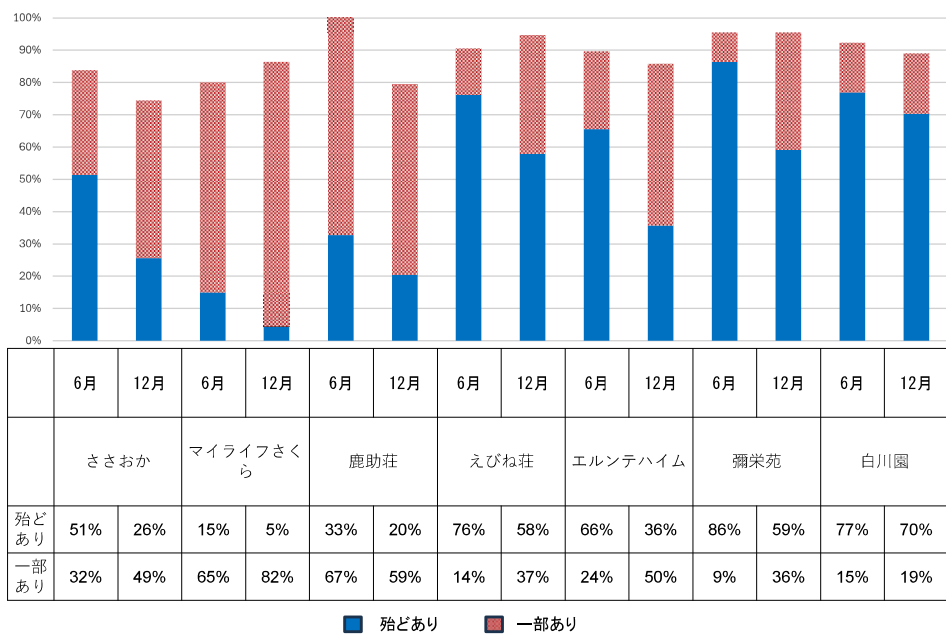
取組年度別比較
腰痛変化の比較



抱え上げや持ち上げ介護の変化の比較



持ち上げや抱え上げ介助の変化
6期生 新規取組施設



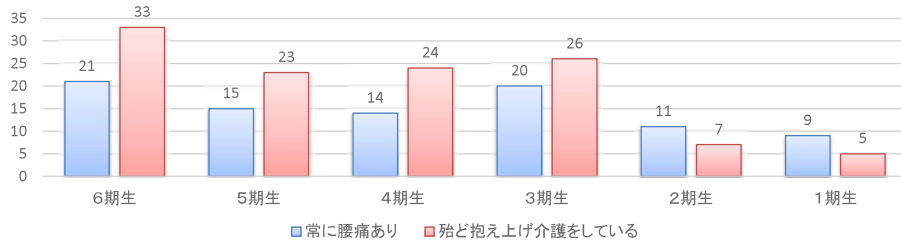
2025年12月の調査結果より

・常に腰痛あり・殆ど抱え上げ介護を行っている割合と施設の平均の福祉用具保有率の関連

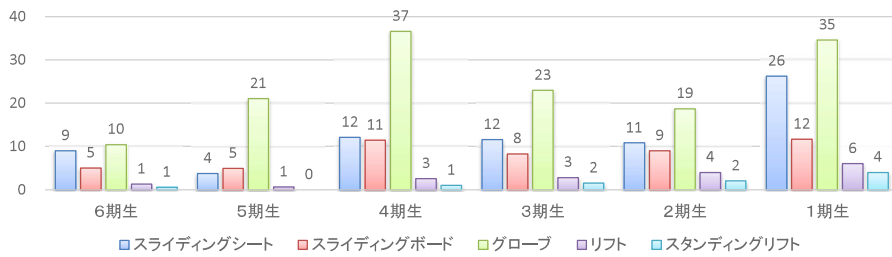
対象を取組年度別全施設と特別養護老人ホームだけ抜粋の比較

取組半年の6期生から6年目の1期生の比較
2025年12月の調査結果より

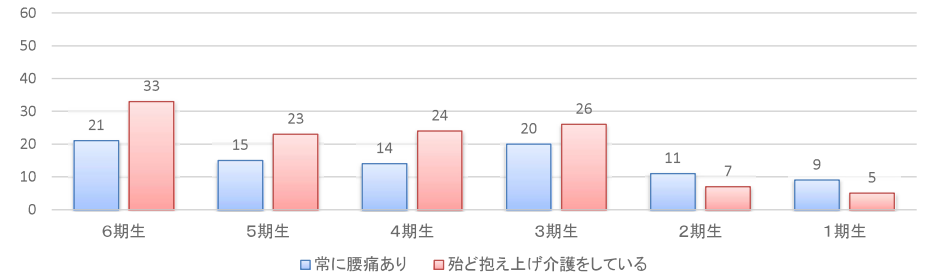
腰痛率と殆ど抱え上げ介護率の関連



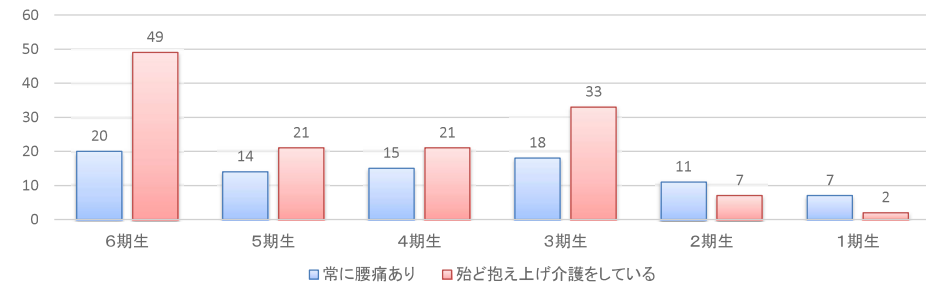
福祉用具の1施設当たりの平均保有数



腰痛率と殆ど抱え上げ介護率の関連

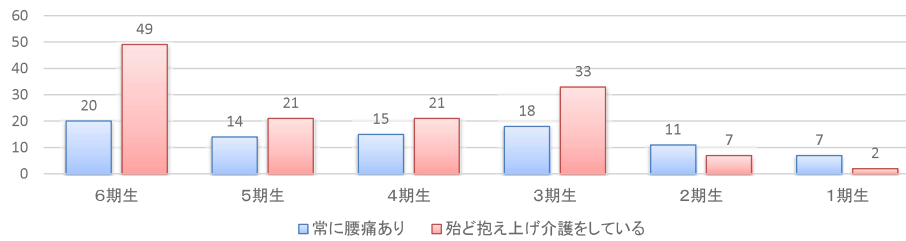


特別養護老人ホーム 腰痛率と殆ど抱え上げ介護率の比較(%)

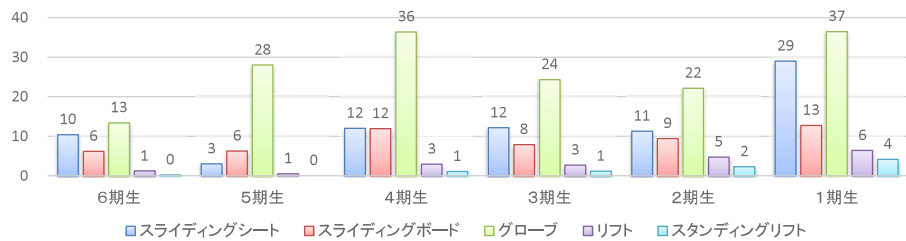


取組半年の6期生から6年の1期生の**特養のみ抜粋**比較
2025年12月の調査結果

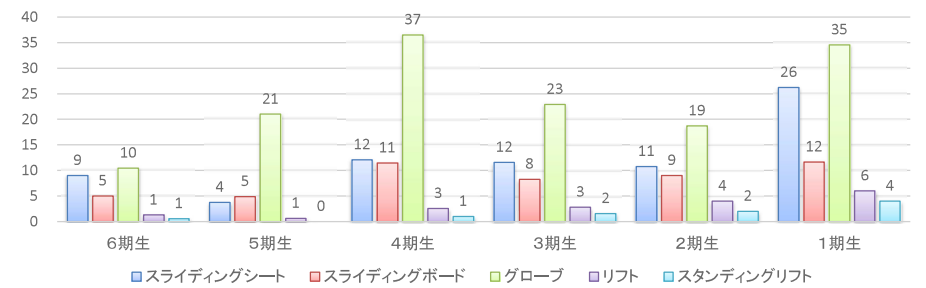
特別養護老人ホーム 腰痛率と殆ど抱え上げ介護率の比較



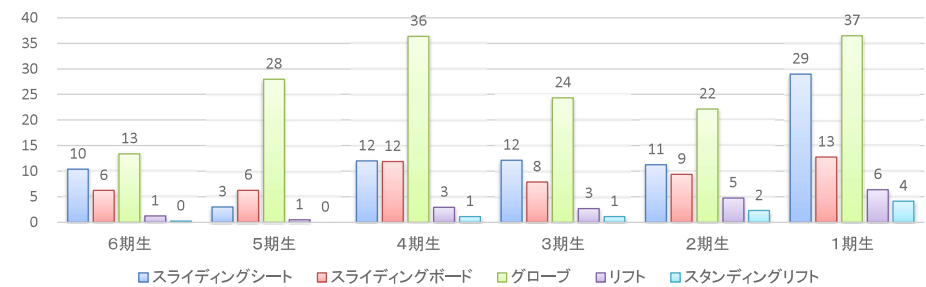
特別養護老人ホームの福祉用具の平均保有数



福祉用具の1施設当たりの平均保有数



特別養護老人ホームの福祉用具の1施設当たりの平均保有数



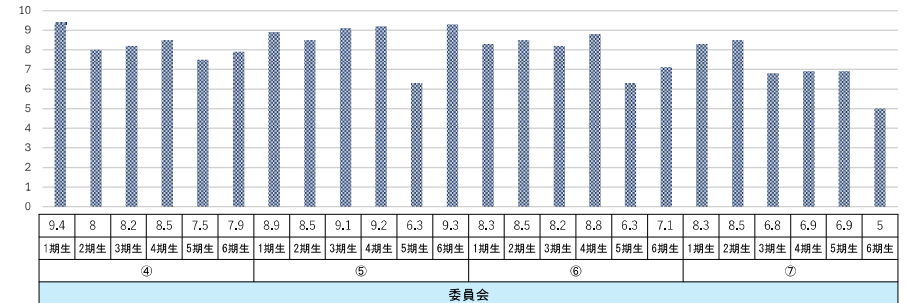
令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況 チェック29項目の結果一覧表 1期生から6期生までの比較

これらの調査結果は、各施設ごとに詳細を把握。
出来ていない事、困っていることの把握に役立て、
マネジメントのフォローアップに活用！

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

委員会

2025.12月時点の自施設評価

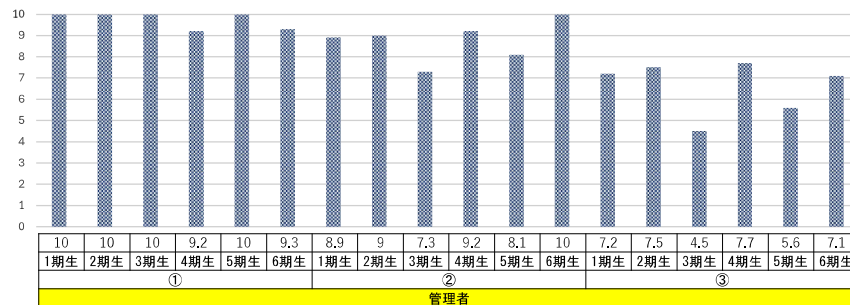


委員会	組織においてノーリフティングケアを推進するためには、組織で認められた委員会(チーム)の存在が重要となります。委員会がマネジメントチームとして機能していることが大切であり、そのチームメンバーの役割が明確かつ機能していることが必要です。 役割には管理者・全体統括マネージャー・教育担当・技術指導者・個別アセスメントプランニング担当・福祉用具管理担当などがあります。	④ 全職員がこの取り組みの目的を共有し理解している
		⑤ 組織の中で認められた腰痛予防対策推進委員会(ノーリフティングケア委員会)があり、会合が定期的に開催されている
		⑥ 委員会メンバーが多職種で構成されており、それぞれ役割を理解し実行できている
		⑦ 委員会が年間目標を立案し、計画的に活動できている

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

管理者

2025.12月時点の自施設評価

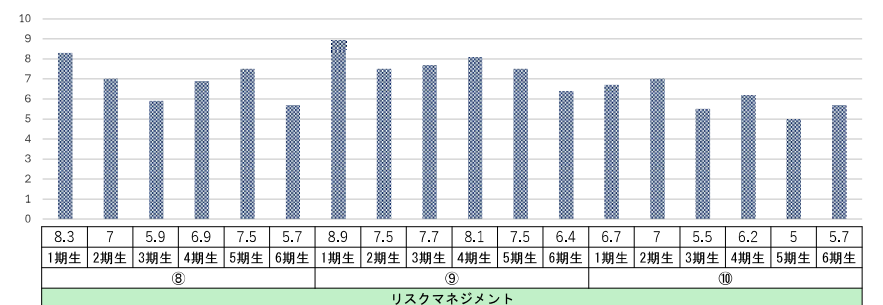


管理者	ノーリフティングケアは職員の労働安全衛生水準の向上、利用者が安心安全にケアを受けられるための取り組みです。抱え上げ・持ち上げ・引きずりでのケアや不良姿勢での作業などを、職員を守る観点から管理者が「行わせない」ことを理解して取り組む必要があります。そのためには、労働環境の整備や組織の体制づくりをすすめ、ノーリフティングケアを推進するリーダーとして計画的に行動・実践していることが求められています。	① ノーリフティングケアは労働安全衛生の取り組みであること、働きやすい職場をつくることを目的としていることを理解している
		② 管理者は組織におけるノーリフティングケアの進行状況を把握し、旗振り役として機能している
		③ ノーリフティングケアのマニュアルが作成されており、定期的に見直しが行われている

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

リスクマネジメント

2025.12月時点の自施設評価

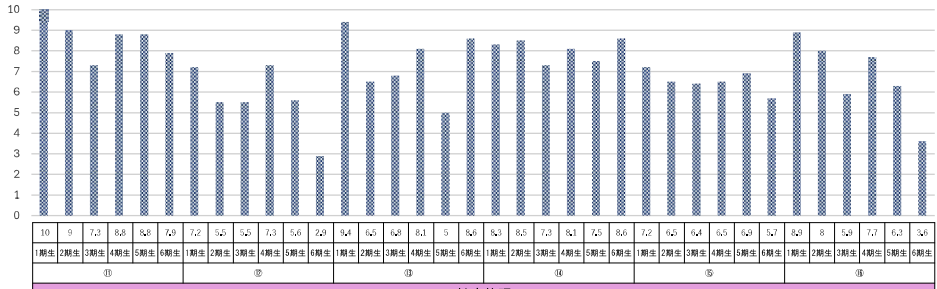


リスクマネジメント	ケアだけでなくすべての作業において、職員一人ひとりから身の回りに潜む身体的負担や腰痛リスクを抽出できる仕組みづくりが大切です。そして抽出されたリスクに対して、改善に向けた計画の立案(P)→計画実施(D)→実施結果の評価(C)→評価を踏まえた見直し・改善(A)	⑧ 全職員がリスクマネジメントに関して理解できている
		⑨ 職員全員がケアだけでなく、すべての作業において、ヒヤリ・ハットを報告する体制があり、課題の分析、低減策の検討・実践、見直し、それらの記録ができている
		⑩ 労働安全衛生の視点から施設内ラウンドが定期的実施されており、低減策を検討し実行、見直しが行なわれ記録もできている

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

健康管理

2025.12月時点の自施設評価

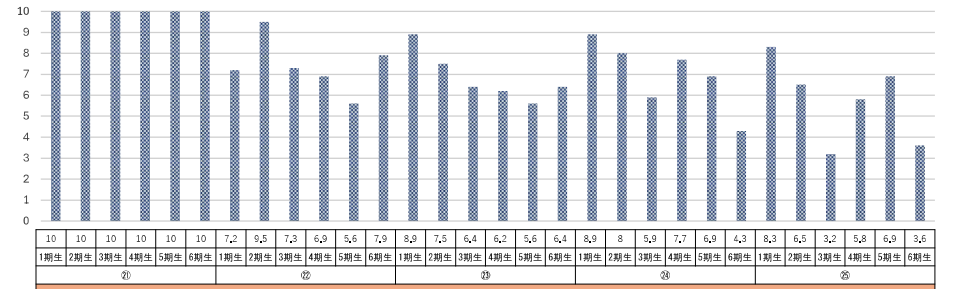


健康管理	職員一人ひとりの腰痛を予防し健康を管理するためには、全職員を対象とした腰痛調査を定期的に行い、腰痛の度合や健康状態を把握することが必要です。そして、委員会で腰痛リスク者を分析し、個別の対策を検討、実施結果の確認まで行います。 また、定期的な腰痛調査により組織全体の腰痛保持率を把握し、比較することでノーリフティングケアの取り組みが機能しているかを評価します。	⑪	年2回を目安に腰痛調査を実施し、分析、対策を検討・実行・見直しができている。また、集計結果・低減策を全職員に開示している
		⑫	入職前、配置転換前の腰痛調査と入職後、配置転換後の腰痛調査が行われている
		⑬	腰痛分類があり、それぞれの度合により対策・対応が決まっている
		⑭	管理者又は委員会メンバーが全職員の健康管理を把握している。
		⑮	就業前後に腰痛予防体操を実施している。
		⑯	腰痛保持率から、組織のシステムが機能しているかを把握できている。

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

人材育成

2025.12月時点の自施設評価

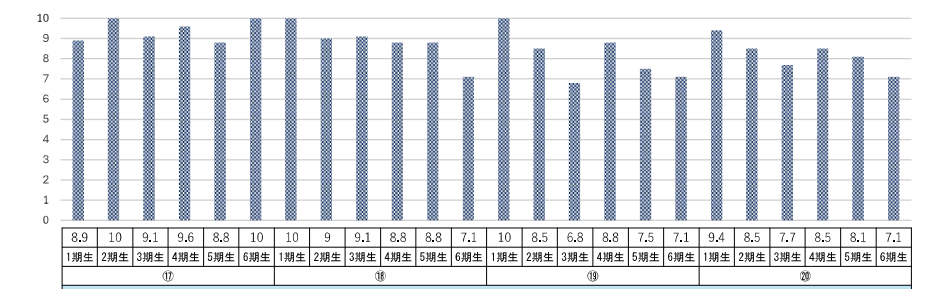


人材育成	安心して働ける職場づくりを実現するためには、職員一人ひとりがノーリフティングケアの必要性や目的を理解し、知識や技術の習得、さらにはそれらがケア現場で実践できている必要があります。そのためには教育が重要であり、担当者を決定し、計画的にノーリフティングケア教育を実践することが必要です。そして教育して終わりではなく、日々のケア現場でも教育の効果によって行動変容されているかチェックできる体制を作りましょう。新人職員への教育や、指導者育成に向けたキャリア教育の体制づくりも大切な要素です。	⑰	知識や技術の習得だけでなく、定着させる事が重要であると理解している
		⑱	年間を通して、教育計画が立案され、実行できている
		⑲	教育に関するキャリア教育があり、指導者が複数名いる
		⑳	新人職員に対する教育体制ができており実行されている
		㉑	日々のケア現場でもチェックできる体制がある

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

個別アセスメント

2025.12月時点の自施設評価

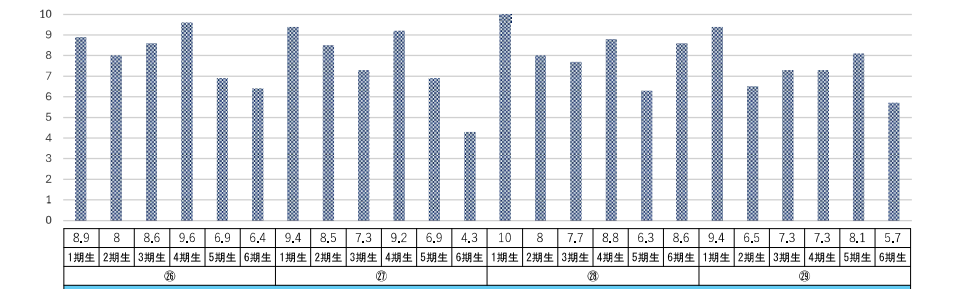


個別アセスメント	すべての対象者に「労働安全衛生」と「自立支援・廃用予防」の視点を持ってアセスメント・プランニングすることが必要です。アセスメント・プランニングの担当が決まっており、周知徹底までの体制(いつ、どこで、誰が、どのようにアセスメント・プランニングし、どのように周知徹底するか)が決まっていることでノーリフティングケアの実践ができます。そして、決定されたケア方法を職員全員で実践し、結果の確認と記録(モニタリング)、見直しまでを行い、より良いケアが実践できるようにします。	⑰	定期的にも職種協働で、担当者会議・カンファレンスが開催されている
		⑱	職員や対象者に対する「ヒヤリ・ハット」や「気づき」からケアの見直しを行っている
		⑲	対象者の「自立支援」や「廃用予防」など、ケアの質だけでなく、職員の「労働安全」の視点も踏まえてプランニングする体制ができている
		⑳	決定したケア内容に関して、周知⇒実行⇒見直しまでの流れができている

令和7年度 マネジメント目標に対する到達状況チェック29項目の結果一覧表

人材育成

2025.12月時点の自施設評価



環境・福祉用具	福祉用具によるケアだけがノーリフティングケアではありませんが、重度障害を持つ対象者が多い事業所は、安全性や業務効率を考慮しても用具の整備は必須です。すぐにすべての環境を整えることは困難でも、事業所ごとのような用具が必要なのか把握し、導入計画が立案されている必要があります。また、定期的なメンテナンスや点検を円滑に行えるよう、福祉用具の担当者を決めて管理しましょう。	⑳	施設内の福祉用具の一覧があり定期的に更新されている
		㉑	定期的にメンテナンス・点検が実施できている
		㉒	リスクマネジメントの観点から、福祉用具の導入計画が立案されている必要がある。また、定期的なメンテナンスや点検を円滑に行えるよう、福祉用具の担当者を決めて管理しましょう。